

観音寺市市制施行50周年記念誌

琴の風の
時の調べ





観音寺市市制施行50周年記念誌

琴
弾
の
風

時
の
調
べ

50th Anniversary of Kan-onji city
1955-2004



当時の街の様子と人々の暮らし



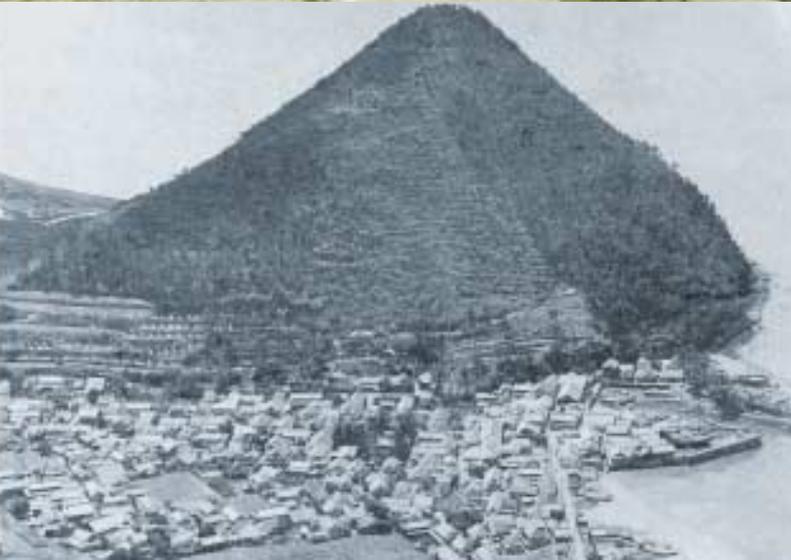


昭和30年1月1日観音寺市誕生





観音寺市が誕生した50年前。それは、太平洋戦争の敗戦から10年、日本経済が荒廃から脱し順調に成長を始めた頃でした。
やがて訪れる高度経済成長期を前にまちはエネルギーがあふれ、人々の暮らしは貧しいながらも活気に満ちていました。





なつかしい記憶、あの日あのころ



観音寺市市制施行 50周年記念誌 発刊に際して



観音寺市長

白川 晴司

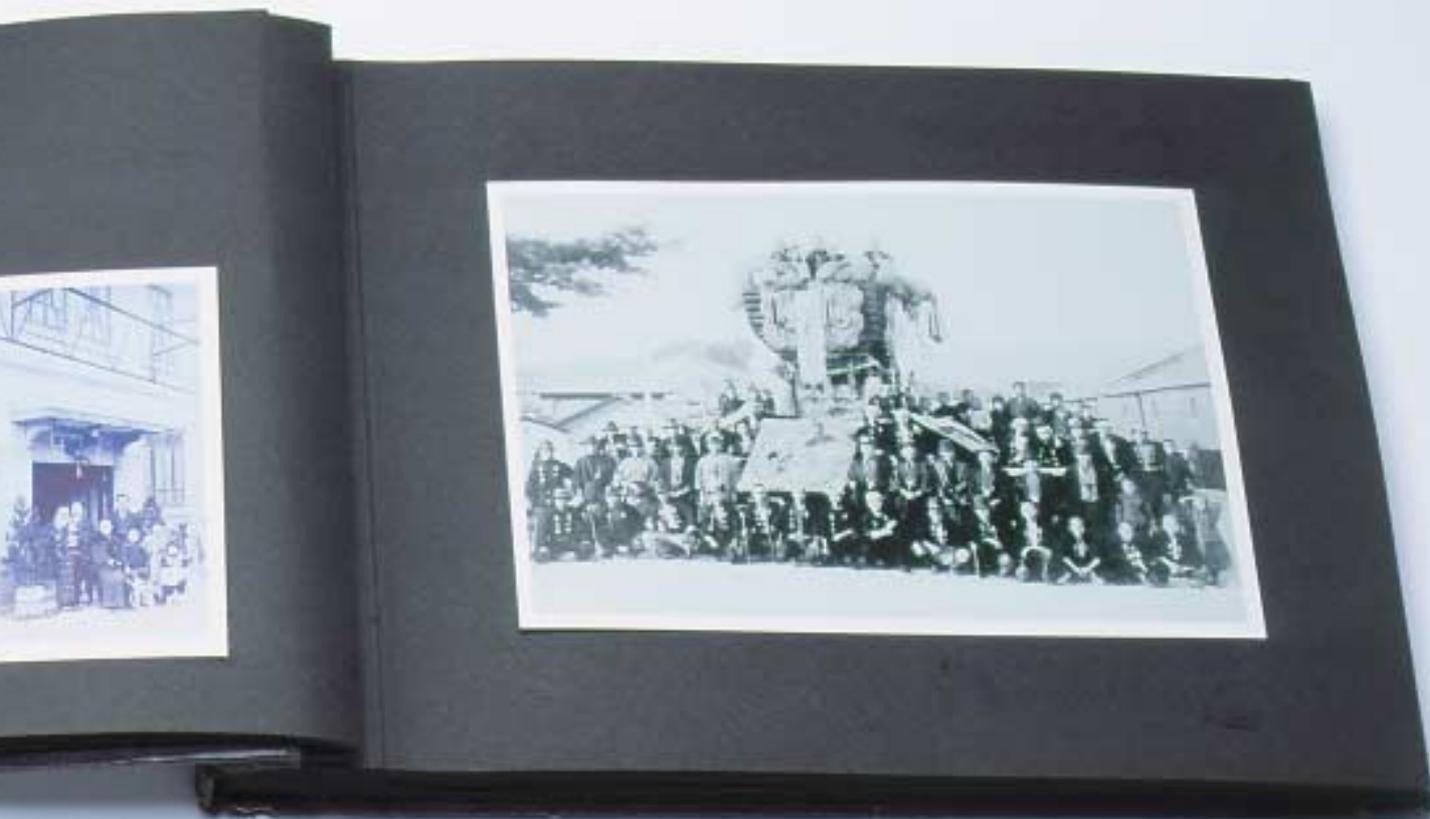
観音寺市は、一九五五（昭和三十）年二月一日、
観音寺町・高室村・常磐村・柞田村が合併して
市制を施行して以来、二〇〇四（平成十六）年
十二月三十一日をもって五十周年を
迎えることとなりました。

また、昭和三十年四月十日には豊田村、粟井村、
紀伊村の二部の木之郷地区（第二次合併）、
さらに昭和三十二年九月三十日には

一ノ谷村と伊吹村が加わり（第三次合併）、
これもまた喜ばしい出来事でした。

今日までの五十年間、本市は常に
西讃の中心都市として政治・経済をリードし続け、
豊かな自然と独自の文化が息づく魅力ある都市へ
と発展してまいりました。

先人たちの英知と市民の皆さまのたゆみない
努力に対し、改めて敬意を表するものであります。
本誌は、観音寺市誕生から今日までの五十年間の



右) ちょうさを中心に集う人々（昭和12年頃）。ちょうさは常に地域の誇りであった
中) お正月の三好写真館（昭和9年頃）。たくさんの方の思い出を写真にしてきた場所でもある
左上) 有明浜で海水浴を楽しむ人々。いつの時代もこの美しい風景が人々に愛されてきた
左下) 常に街の中心で通勤・通学・買い物客でにぎわった商店街

琴弾の風 時の調べ

観音寺市市制施行50周年記念誌 ● 目次

琴弾の風、時の調べ 1
なつかしい記憶、あの日あのころ。 2
【巻頭あいさつ】 観音寺市長 白川晴司 6

第1章 ◆めぐみ豊かな観音寺市の自然

この場所から 8
先人たちが選んだ美しい山と川、穏やかな海。 10
山の緑と大地の息吹、緩やかな風。 12

第2章 ◆時を超えてよみがえる観音寺市の歴史

古からのメッセージ 14
[原始・古代] 大地に刻まれしふるさとの記憶 16
[中世] 弘法大師ゆかりの寺と豊富な文化財 18
[近世] 一夜にして巨大な砂絵を完成させた人々の心意気 20
[明治・大正] 乗合自動車・電話・電灯・汽車 22
[昭和] 港の完成と活気に湧く町 24

第3章 ◆観音寺市50年のダイジェスト

誕生そして半世紀の軌跡 26
1955-1964 (昭和30年代) 28
1965-1974 (昭和40年代) 34
1975-1984 (昭和50年代) 40
1985-1994 (昭和から平成へ) 46
1995-2004 (20世紀から21世紀へ) 52

ふるさとまちづくり座談会
思い出が夢を育てる 58

第4章 ◆写真で見る学校教育の歩み

懐かしい学舎思い出の日々 62
私たちの学舎いま昔 [明治] 64
私たちの学舎いま昔 [大正] 65
私たちの学舎いま昔 [昭和] 66
私たちの学舎いま昔 [現在] 68

今この時、輝いて。

春 70
夏 72
秋 74
冬 76

[資料編] DATAでみる観音寺市の50年 78

50年後の観音寺市・子どもたちの見つめる未来
こども美術館 84

平成十七年二月吉日

市政の変遷を振り返り、その確かな歩みを記録するとともに、観音寺市の魅力の背景にある自然・歴史・文化などについても理解を深めていただくために集録を重ねてまいりました。ふるさとの懐かしい写真を見て昔を思い出したり、あるいは観音寺市の新たな魅力を発見していただければ幸いです。最後に、本誌の編纂にあたり、多くのご意見や貴重な写真をご提供いただきました方々に深く感謝申し上げますとともに、この記念誌が、このまちに生きる喜びを分かち合うきっかけとなることを願いながら、発刊のごあいさつといたします。





第 1 章 ◆めぐみ豊かな観音寺市の自然

この場所から

一万年前にも遡る観音寺市の歴史の原点、
それはこの美しい自然にあります。青い海・緑の大地・穏やかな気候風土、
祖先たちは豊かな自然に恵まれたこの場所を選び、
ここで暮らし、独自の文化を育み、
歴史と伝統に彩られた魅力あるまちを築いてきました。

先人たちが選んだ

美しい山と川、

穏やかな海。



海水の浸食によって造られた「伊吹島の石門」

七〇三(大宝三)年三月、浜に一艘の舟が
つき琴の音を発しています。僧の日証が近
よると、「我は八幡大菩薩なり…宇佐より
来たり、この地の風光を見て去るに忍びず」と
告げられました。日証は人々を集めてそ
の舟を山上に引き上げ、神殿を造営しまし
た。これが琴弾八幡宮の起りであるとさ
れています。

あまりの美しさに魅せられてこの地
にとどまることになった大菩薩は、今も琴弾
山の山頂から、穏やかな瀬戸内海に沈む夕
日や、沖に浮かぶ伊吹島の姿、白い砂浜と
緑の松原に囲まれた有明浜、そしてそこに
生きるおらかな人々の暮らしを満足け
に見下ろしていることでしょう。



市民に愛される有明浜



股島に沈む夕日

大地の息吹、

観音寺市は、高松市から西へ約五十六km、西は
巖灘に面し、南は阿讃の山々を境に徳島県に接し
ています。香川県の三大平野の一つである三豊平
野の中心都市で、市域の大部分は財田川と柞田川
の扇状地であるため、平坦で肥沃な農業地帯が広
がっています。

恵み豊かな自然に囲まれた農・漁業のまちであ
るとともに、日本の白砂青松百選にも選ばれた有
明浜や琴弾公園をはじめ、見どころが多い観光都
市でもあり、砂上の奇観「寛永通宝」銭形、日本最
古の俳跡「一夜庵」、四国霊場六十八・六十九番札
所、観音寺金堂など、名所旧跡が数多く残されて
います。



有明浜にある砂の芸術「寛永通宝」銭形の雄大な姿

かな風。

山の緑と

讃岐山脈の緑豊かな山並みは遠く徳島県へと続く



有明浜に続く見事な観音寺松原



第68番「神恵院」と第69番「観音寺」の境内

緩や



第2章 ◆時を超えてよみがえる観音寺市の歴史

古からのメッセージ

太古、市域の沿岸部はまだ懸崖の海面下にありました。
やがて、財田川や杵田川による大量の土砂が大地を広げ、
縄文時代にはなつめの木の貝塚などが営まれ、
弥生時代の初めには稲作文化が伝えられ、
古墳時代になると、丸山古墳や青塚古墳の被葬者のように、
はるか九州から石棺を運ぶことができる有力な豪族が登場します。





観音寺金堂

観音寺は、山号を「七宝山」といい、四国霊場第68番札所「神恵院」と第69番札所「観音寺」の二つの霊場があります。琴弾山の東の山腹に位置し、眼下に観音寺市街地を見下ろす景勝地で、朱塗りの鮮やかな観音寺金堂をはじめ多くの貴重な文化財が所蔵されています。

二万年前にさかのぼる歴史

大地に刻まれし ふるさととの記憶



内行花文鏡



古川銅鐸

観音寺市内には、旧石器時代から古墳時代にかけての遺跡が各所に点在しており、古来からこの地で人々が生活を営んできた様子がうかがえます。縄文時代の遺跡では、約六千年前のものと思われる高屋町の「なつめの木の貝塚」があり、「室本遺跡」は県内でも古い弥生前期の土器が出土したことも知られています。また、古川町からは外縁付鉾式の流水文銅



興昌寺山古墳



鐘子(かんす)塚古墳



鐘子塚古墳出土金銅製馬鈴

鐸(古川銅鐸)が発見されています。古墳時代中期(五世紀)には、九州産の阿蘇熔結凝灰岩製の舟形石棺が運ばれ埋納された丸山古墳や青塚古墳(前方後円墳)が造られ、古墳時代後期(六世紀)には県下屈指の古墳群の鐘子塚古墳や瓢箪塚古墳(前方後円墳)に代表される母神山古墳群が形成されました。

観音寺市の地名の由来ともなっています。

いる「観音寺」は、七〇三年に琴弾八幡宮鎮座の時に、日証上人という人がいて、その当時は法相宗の道場で神宮寺と称していましたが、八〇七(大同二年)に唐から帰朝した空海が聖観音像を作り中金堂に安置し、寺号を観音寺に改めたとされています。以来、庶民はもとより、菅原道真や源義経などからも厚い信仰を受けてきました。



室本遺跡出土品

原始・古代



一夜庵

琴弾公園近くの興昌寺山の中腹にある日本最古の俳跡「一夜庵」。宗鑑は「上は立ち 中は日ぐらし 下は夜まで 一夜泊まりは 下々の下の客」と詠み、一夜以上の滞在を許さなかったことから「一夜庵」と名付けられたといわれ、利休以前の茶道が体系化されていない頃の茶室としても知られています。

弘法大師ゆかりの寺と 豊富な文化財



興昌寺



伝山崎宗鑑自刻像

鎌倉時代には、琴弾八幡宮・観音寺はいつそう発展し、室町時代には門前で定期市が開かれるようになり、上市・下市などの町場ができていきました。海沿いには観音寺浦が形成され、港町としても栄えました。



絹本着色琴弾八幡本地仏像



絹本着色不動二童子像

この頃、自由奔放な連歌師として人気があった山崎宗鑑が、興昌寺の住職となって帰郷した梅谷和尚を頼って観音寺にやってきました。宗鑑は俳諧の祖とも謳われる人物で、興昌寺境内の片隅に「一夜庵」を結び、八十九歳の生涯を終えるまで（一五五三・天文二十二年）の二十余年間をこの地で過ごしました。その後、天下

の俳人が数多く当地を訪れ、当地方文化の興隆に大きな影響を与えました。

また、この時代にはすばらしい建築物や美術品が多く、「木造涅槃仏像」、「絹本着色琴弾八幡本地仏像」、「絹本着色琴弾宮絵縁起」、「観音寺金堂」、「絹本着色不動二童子像」はいずれも国の重要文化財に指定されています。



木造涅槃仏像

中世



「寛永通宝」銭形

琴弾山の西麓、有明浜に彫られた寛永通宝の銭形は、東西122m、南北90m、周囲345m。琴弾山の頂上から見ると、見事な円に見えるように、少し縦長に造られています。数百年経った今も市民の手によって大切に守られ、夜はライトアップされて幻想的な美しさで人々を魅了しています。

今と変わらない琴弾八幡宮の秋祭り風景。人々の服装が時代を感じさせる。



平面橋に架け替えられた木造の三架橋。昭和10年にコンクリート橋となった。



1913（大正2）年に国鉄の駅ができるまでは、財田川近くの上市・下市などが町の中心でしたが、町の南のはずれに駅がつくられると、道路や橋（大正橋）が架かり、大正5年に川の江駅まで開通すると、駅を利用する人がますます増加し、町は次第に駅周辺にも広がっていきました。

乗合自動車・ 電話・電灯・汽車



人々の娯楽の場としてにぎわった「朝日座」



琴弾公園。現在のドライブウェー入口付近



観音寺警察署と警察官

一八六八(慶応四年)年、江戸は東京と改められ、明治と改元されました。この年の神仏分離によって琴弾八幡宮の本地仏は別当寺であった観音寺の西金堂に移され、六十八番を「神恵院」、六十九番を「観音寺」とし、四国霊場唯一の一寺二霊場となりました。町村制が施行された



有明浜での陸軍特別大演習(大正11年)



観音寺商工会の富くじに集う人々



大正時代の葬儀の列(大正8年)

一八九七(明治三十年)年には、琴弾八幡宮の社領と周辺の官有地・民有

地を合わせて、琴弾公園を設立。後に県に寄贈して県立公園となりました。明治以前の交通といえば馬か駕籠しかなく、貨物の運搬も牛馬に頼っていました。明治になって道路は次々と整備され、一九一二(大正元)年、電話架設、翌大正二年には初めて電灯が灯り、国鉄讚岐線(現予讃本線)が多度津から観音寺駅まで開通するなど、急速に近代化が進んでいきました。

一八九〇(明治二十三年)、観音寺町・高室村・常磐村・杵田村・豊田村・粟井村・二ノ谷村・紀伊村の八町村が誕生。翌年、伊吹村が観音寺町より分村して一町八力村となりました。

明治・大正



観音寺駅に昭和天皇の御召列車到着（昭和25年）



有明浜に臨海学校に来た子どもたちが砂浜で相撲大会（昭和20年代）

戦後の復興に励む国民を激励するため、1950（昭和25）年天皇陛下の全国巡幸が行われ、観音寺では市内の生徳旅館にご宿泊されました。財田川原では郷土色豊かな獅子舞や太鼓台などを披露。盛大な提灯行列も行われ、陛下も二階から提灯を振って応えられました。

港の完成と 活気に湧く町



紀伊尋常高等小学校御眞影奉安殿落成祝賀式



上水道工事風景 (昭和12年12月)



昭和10年コンクリートに架け替えられた「三架橋」

一九二六(昭和元)年観音寺〜五郷間に乗合バスが開業し、十年後には国鉄バスと琴参バスも参入して、観音寺駅を中心に周辺の町や村に通うようになりました。また、一九二八(昭和三)年に始まった観音寺港の築港工事も、一九三六(昭和十一)年に完成を迎え、これによって海上交通の輸送量も飛

躍的に増加。商工業の発展に拍車がかかりました。一九三五(昭和十)年には、江戸時代から



第8回国体当時の観音寺駅前(昭和28年)



トーカー紙芝居を楽しむ人々(昭和10年頃)



天皇行幸を旗を振って歓迎する人々(昭和25年3月)

園入口)が、鉄筋コンクリート橋に生まれ変わり、町の新たなシンボルとなるとともに、翌十一年には、琴弾公園が名勝の指定を受けました。

一九四一(昭和十六)年日本は遂に第二次世界大戦に突入。翌十七年には一ノ谷池が決壊し、終戦後も深刻な食料不足に見舞われるなど暗い時代が続きましたが、戦後の復興とともに住宅や工場・商店などが増え、町は徐々に活気を取り戻していきました。

昭和



第

3

章

◆ 観音寺市50年のダイジェスト

誕生そして半世紀の軌跡

明治23年以来町制を施行してきた観音寺町は、
四国四県のうち最大の人口を有する「町」となっていました。
1955(昭和30)年1月、常磐・高室・杵田の3村を合併して市制を施行。
この年、豊田村・栗井村と紀伊村の一部を編入し、
翌31年には一ノ谷・伊吹の両村を併せて今日の市域が確定しました。





市制祝賀の仮装行列 (昭和30年)

1955-1964

昭和30年代

1955 (昭和30) 年、観音寺市が発足した当時は、
わが国の経済が戦後の荒廃から脱し、順調に成長し始めた頃で、
市庁舎や学校などの公共施設、道路・港湾・水道の整備が着々と進められていきました。



観音寺市誕生を祝う人文字 (昭和30年観音寺南小学校)

Close Up

昭和30年代◆クローズアップ



公会堂前で記念撮影する観音寺市議会議員（昭和30年）

一九五四（昭和二十九）年、観音寺町・高室村・常磐村・柞田村・伊吹村の間で第一回の合併協議会が行われ、伊吹村は第一回合併からは離脱することとなったものの、同年八月に開かれた関係町村の各議会は満場一致で合併を決議。一九五五（昭和三十）年一月一日、新しく観音寺市が誕生しました。

合併関係町村の中心である観音寺町は、一八七四（明治七）年から観音寺を村名とし、四国四県の最大の町であり、西讃地方の政治・文化・経済の中心であったことはよく知ら



昭和32年頃の競輪場

れていたもので、新しい市名は意義なく「観音寺市」と決定されました。人口は三四、〇七〇人（戸数七、三八四戸）でした。同年、豊田村・粟井村と紀伊村の一部を編入し、翌三十一年には一ノ谷村・伊吹村を併せて今日の市域が確定しました。

市制発足当時の市議会は、田町村の議会議員全員（六十六名）が市公会堂に集まって行われ、田岡種茂氏を議長に選出。三十年四月に行われた第一回市議会議員選挙では、三十四名の議員が選ばれました。

初代市長には西原氏が就任し、「産業基盤の整備」「調和のとれた市民生活と住みよい都市づくり」を重点施策として、新市建設事業計画のもと、市内各小中学校の改修築、幼稚園舎の新築、公民館の増築、道路網や港湾の改修整備、上下水道の延長などが着々と行われました。

観音寺市の新しい市庁舎が完成したのは、三十八年で、この年、琴弾山に「琴弾山展望台ドライブウェイ」が完成し、以来多くの家族連れでにぎわっています。



琴弾公園ドライブウェイ完成（昭和38年）

教員生活で得た 生徒たちとの絆が かけがえのない宝物

横山 照美 さん

昭和2年生まれ、77歳、豊田地区
農業・観音寺市文化財保護協会会長



五十年前といえば、私は、教員生活のかたわら農業をしておりました。当時の豊田村は、農業の水利関係をはじめ、地域の人間関係も互いに結びつきが深く、組合立の三豊中学校も開校しており、観音寺市への合併も一年遅れました。

私の人生の中で忘れられないのは、戦時空襲下、神戸で過ごした学生生活と、三豊中学校・三豊工業高校の開校時の生徒たちとの交流です。ふるさとの思い出といえ、中学在職中の五年間で、退職後十七年になり、退職後十七年になり、交流は続いています。美しい白砂青松の琴弾公園と有明海岸、人情の豊かさというすばらしい地域資源が残る観音寺市ですが、近年は、三豊平野の中核都市としての機能が失われ、空洞化が進んでいるように思います。



昭和30年頃の伊吹島真浦港



香川県立観音寺病院(昭和30年)



観音寺電信電話局(昭和32年)



三豊干拓事業堤防工事に着手(昭和31年4月)



村黒町婦人会農繁共同炊事場(昭和34年)



観音寺駅前で自衛隊音楽隊の行進(昭和34年)

観音寺市50年のあゆみ

1955

◆ 昭和30年

- 1月1日観音寺市誕生、第1次合併（観音寺・高室・常磐・柞田）● 市第2次合併（豊田・粟井・木之郷）● 中部用水工事完成 ● 室本町に給水 ● 西保育所開設 ● 一ノ谷小学校校舎竣工

[国内外の出来事]

- 重要無形文化財第1次指定（25件30人）● 第27回総選挙 ● 雪印八雲事件 ● 立川基地拡張反対総決起大会（砂川闘争） ● ソ連・東欧8カ国ワルシャワ条約調印 ● 経済企画庁発足 ● 第1回原水爆禁止世界大会開催（広島） ● 森永砒素ミルク事件 ● 新潟大火 ● 自由民主党結成

1956

◆ 昭和31年

- 琴弾公園が瀬戸内海国立公園に編入される ● 高屋町へ給水 ● 伊吹保育所竣工 ● 老人ホーム「母神園」完成 ● 粟井小学校校舎竣工 ● 市第3次合併（一ノ谷・伊吹） ● 豊田幼稚園園舎竣工 ● 常磐幼稚園園舎竣工 ● 一ノ谷小学校講堂竣工

- コルチナ・ダンベッツ冬季オリンピック（第7回） ● ソ連共産党第20回大会 ● 第1回世界柔道選手権 ● ポーランド、ボズナニ暴動 ● 経済白書発表 ● 文部省、初の全国学力調査実施 ● 大東京500年祭 ● 日本南極観測隊出発 ● メルボルン・オリンピック大会 ● 国連総会、日本の国連加盟を可決

1957

◆ 昭和32年

- 火葬場改築 ● 木之郷幼稚園園舎竣工 ● 消防本部設置 ● 柞田小学校第3期工事完成 ● 納税貯蓄組合連合会発足 ● 電話がダイヤル式になる

- 南極昭和基地建設 ● 岸信介内閣成立 ● 1,000億減税などの税法改正公布 ● 日ソ漁業条約調印 ● イギリス、クリスマス島で水爆実験 ● 東海村原子力研究所「原子の火」点火 ● ダイエー開店 ● ソ連、人工衛星スプートニク第1号打ち上げ ● 日ソ通商条約調印 ● NHK・日本テレビ、カラーテレビ実験放送開始

1958

◆ 昭和33年

- 一ノ谷幼稚園園舎竣工 ● 豊田小学校講堂竣工 ● 豊田公民館竣工 ● 新市建設計画策定 ● 江藤水源池完成 ● 国民健康保険実施

- 淡路島沖で「南海丸」沈没、死者166人 ● アメリカ、人工衛星エクスプローラ第1号打ち上げ ● 関門国道トンネル開通 ● 国立競技場完成 ● 第3回アジア競技大会（東京） ● 阿蘇山大爆発、死者12人 ● 全日空機、下田沖遭難、33人死亡 ● 台風22号（狩野川台風）、死者・行方不明1,269人 ● 1万円札発行 ● 東京タワー完工式

1959

◆ 昭和34年

- 粟井小学校改築工事完成 ● 財政再建計画策定 ● 国民年金事務始まる ● 伊吹幼稚園園舎竣工

- メートル法実施 ● ドゴール、フランス大統領就任 ● 国民年金法成立（11月1日施行） ● 皇太子・正田美智子さまご成婚 ● 天皇・皇后初めてのプロ野球観戦 ● 児島明子さん、ミス・ユニバースに決定 ● 中国・インド両軍、国境地帯で衝突 ● 伊勢湾台風 ● ニッポン放送、全日放送開始 ● アメリカ・ソ連など21カ国、南極条約調印



南小学校の校庭からNHKラジオ体操の全国中継放送が行われた（昭和34年）



空から見た財田川河口付近右岸の風景（昭和34年当時）



市庁舎として使われた観音寺町役場



旧庁舎での最後の議会 (昭和38年4月)



一ノ谷有線開通 (昭和36年)



福祉事業所に導入されたスクーター (昭和36年)



佐渡ヶ嶽親方の寄付による中部中学校土俵開き (昭和37年4月)



観音寺金堂を復元 (昭和37年4月)

1960

◆昭和35年

●市消防署設置 ●伊吹診療所新築工事完成 ●粟井公民館竣工 ●駅裏線新設工事完成

●皇太子妃、浩宮徳仁出産 ●ソ連、人工衛星船第1号の打ち上げに成功 ●チリ地震津波、太平洋岸に襲撃、死者・行方不明139人 ●アメリカ、ケネディ「ニュー・フロンティア政策」発表 ●池田勇人内閣成立 ●第17回ローマ・オリンピック大会 ●カラー放送開始 ●浅沼稲次郎社会党委員長刺殺事件 ●第29回総選挙 ●閣議、国民所得倍增計画決定



室本青年団の演芸会(昭和36年)



観音寺中学校のプール完成(昭和37年)

1961

◆昭和36年

●高室幼稚園園舎竣工 ●抛出制国民年金制度発足 ●旧観商跡市道整備事業完成 ●世界連邦都市宣言

●アメリカ、民主党のケネディ大統領就任 ●日光東照宮薬師堂焼失 ●ソ連、初の人間衛星船「ヴォストーク1号」打ち上げ(ガガーリン少佐) ●アメリカ、人間ロケット打ち上げ成功(シェパード中佐) ●韓国、軍事クーデター ●大阪・釜ヶ崎、暴動事件 ●東ドイツ、東西ベルリン境界封鎖(ベルリンの壁) ●第2室戸台風 ●東京・大阪・名古屋の証券取引所で株式市場第2部を新設、発足 ●ソ連、アルバニア国交断絶



交通量が多くいつも混雑した角の町(昭和38年)



香川駅伝競走スタート(昭和37年1月)

1962

◆昭和37年

●安全都市宣言 ●中部中学校第7期工事完成 ●成人病検診実施 ●観音寺中学校・中部中学校土俵開き(佐渡ヶ嶽親方の寄贈)

●宮内庁、歌会始盗作事件 ●アメリカ、初の人間衛星「フレンドシップ号」打ち上げ(グレン中佐) ●日本、アメリカ、ガット関税取り決め調印 ●大日本製薬、サリドマイド系睡眠薬の出荷停止 ●国立がんセンター、診療開始 ●アメリカ、テルスター通信衛星、欧米間のテレビ宇宙中継に成功 ●堀江謙一、小型ヨットで太平洋横断に成功 ●日本航空機製造、YS11の初飛行に成功 ●プロ野球、金田正一投手(国鉄)、奪三振3,514の世界新樹立 ●キューバ危機



市制10周年記念式典(昭和39年10月、南小学校体育館)



新築された議場で初の市議会(昭和38年7月)

1963

◆昭和38年

●琴弾山展望台ドライブウェイ完成 ●市庁舎竣工 ●中部中学校体育館竣工 ●観音寺駅舎新築 ●三豊中学校体育館竣工 ●長雨で麦に被害

●北九州市誕生 ●東京・台東区、村越吉展ちゃん誘拐事件 ●狭山事件 ●「小さな親切運動」本部設立 ●アメリカ・ソ連間に直通電話(ホットライン)協定 ●東京・池袋、西部デパート火事 ●マレーシア連邦発足 ●アメリカ、ケネディ大統領暗殺事件 ●日本・アメリカ間テレビ宇宙中継受信実験成功 ●プロレスラー力道山刺殺事件

1964

◆昭和39年

●観音寺南小学校体育館竣工 ●観音寺港線・観音寺港観音寺停車場線道路整備工事完成 ●市内で初めて信号機が本大町に設置される ●市営住宅黒淵団地68戸竣工 ●観音寺東小学校本館竣工

●第9回インスブルック冬季オリンピック大会 ●大日本印刷産業スパイ事件 ●日本、OECD(経済開発協力機構)に正式加盟 ●新潟地震 ●アメリカ、人種差別撤廃の公民権法成立 ●富士山頂気象レーダー完成 ●東海道新幹線開業 ●第18回東京オリンピック大会 ●中国、初の原爆実験に成功 ●佐藤栄作内閣成立



新庁舎落成を記念して(昭和38年6月)



昭和41年に始まった「銭形まつり」

1965-1974

昭和40年代

日本中が好景気に沸いていた1966 (昭和41) 年、
観音寺市では第1回「銭形まつり」が盛大に実施されました。翌年には、有明キャンプ場も完成し、
観光やレジャーを楽しむなど、人々の暮らしにもゆとりが感じられるようになりました。



銭形砂ざらえに参加した人々 (昭和45年)

Close Up

昭和40年代◆クローズアップ

一九六〇（昭和三十五）年の池田内閣「所得増進計画」による高度成長政策により、三十年代後半から四十年代中頃までは、好況の影響を受けて市の財政も順調に推移。市庁舎の建設をはじめ、

消防庁舎・清掃センターの完成、教育施設・市民会館の建設に着手するなど、多方面にわたり強力な建設行政が押し進められました。



観音寺市消防庁舎新築落成（昭和40年8月）

八年には簡易水道も完成しました。四十五年には、市民憲章が制定され、市民会館が完成。と同時に、昭和二十七年から十八年の歳月をかけて行われてきた三豊干拓事業も完成を迎え、当時あこがれの的であった大型機械化農業の実現が可能となりました。

四十七年には、三豊総合運動公園の造成工事が着工され、二年後の四十九年に開園。この年は、市制二十周年記念に当たり、記念式典が挙行されたのをはじめ、市の木「マツ」

市の花「ツツジ」が制定されました。また、四十八年には、市百年の大計として公共下水道工事に着手。福祉

一方、工場排水や埋立などの影響から、海の汚染やゴミ処理対策が大きな課題となつたのもこの頃で、四十二年には清掃センターが完成し、袋でのゴミ収集が実施されるようになったのは四十四年のことでした。

四十二年に誕生した横山市長時代には、国の瀬戸内海大規模開発計画に歩調を合わせた広域行政の推進と、香川用水の実現による水資源高度利用、市民所得の増大、社会福祉の充実などが図られました。

伊吹島では、四十二年に海底ケーブルによって送電が開始され、四十



伊吹島への海底ケーブル敷設工事風景（昭和42年8月）

元年といわれた年でもあり、本市では高齢者と乳幼児の医療費無料化を実施するとともに、老人福祉施設や児童福祉施設を建設しました。



昭和44年当時の百十四銀行観音寺支店

中国の南画のように 穏やかで美しい 観音寺の風景に感動



川人 裕子 さん

昭和14年生まれ、64歳、本大町
主婦・せらびいパッチワーククラブ主宰

主人とは東京で知り合い、新潟県からこの地に嫁いで約四十年になります。当時、宇高連絡船から見た初めての瀬戸内の風景は、まるで中国の南画のようで、日本海の荒々しさとの違いに感動したものでした。

昭和三十九年は、当市に嫁いですぐに新潟大地震があり、秋には東京オリンピックが開催されるなど激動の一年で、観音寺の穏やかさを再認識する年になりました。

観音寺市は私にとって第一のふるさと。三人の子どもを生み育て、農業に励んだ日々が全てです。風土は人をつくると言いますが、まさに実感。こ

こは暖かい気候ゆえに、みんな大らかでのんびりしており、人柄の良い友人に恵まれました。ただ、面白い風習や行事、各地区の冠婚葬祭など、最近では簡素化されて、どこも同じでつまらなくなつたのは寂しいことです。

これからは、文化施設の建設や特色あるイベントで、若い人が集まる街にしたいと思っています。



観音寺市消防庁舎新築落成式(昭和40年8月)



台風による集中豪雨(昭和40年9月)



明治橋架け替え工事(昭和40年)



大雪によりアーケード破壊(昭和43年2月15日)



中部中学校プール落成式(昭和41年10月)



市政広聴会開催(昭和41年9月)



粟井放牧場が農林大臣賞受賞。西日本一に(昭和41年7月)

1965

◆昭和40年

- 国道11号開通 ●市消防庁舎完成 ●時を守る都市宣言 ●台風23・24号戦後最大の被害をもたらす ●市少年育成センター発足

●インドネシア、国連脱退 ●アメリカ、ドンホイ爆撃（北爆開始） ●北炭夕張炭鉱ガス爆発事故 ●ファイティング原田、ボクシング世界バンタム級選手権獲得 ●名神高速道路全線開通 ●インド・パキスタン両軍、カシミールで衝突（印パ戦争） ●東京教育大教授朝永振一郎、ノーベル物理学賞授賞 ●中国、文化大革命開始 ●プロ野球、ドラフト制度発足 ●日本、国連安保理非常任理事国に当選

1966

◆昭和41年

- 奥谷児童館工事完成 ●稲積橋完成 ●柞田幼稚園園舎完成 ●第1回銭形まつり開催 ●伊吹公民館完成

●インド・パキスタン和平首脳会議開催（タシケント） ●全日空ボーイング727型機、羽田沖墜落事故 ●BOACボーイング707型機、富士山上空空中分解事故 ●総人口、1億人突破（1億55万4,894人） ●千葉大チフス菌事件 ●国立京都国際会館開館 ●国民祝日法改正公布 ●中国、初のミサイル発射実験に成功 ●全日空YS11型機松山沖墜落事故 ●衆議院、「黒い霧」解散

1967

◆昭和42年

- 観音寺中学校体育館完成 ●木之郷公民館完成 ●清掃センター完成 ●港橋完成 ●青少年育成キャンプ場完成 ●伊吹地区電気導入事業完成 ●中部中学校増築工事完成 ●一ノ谷公民館完成

●政府、初の原爆被爆者実態調査 ●中東6日間戦争 ●中国、初の水爆実験に成功 ●ヨーロッパ共同体（EC）発足 ●第1次資本自由化 ●東南アジア諸国連合（ASEAN）設立 ●ユニバーシアード東京大会 ●四日市ぜんそく患者、石油コンビナート6社に初の大気汚染公害訴訟 ●吉田茂元首相死去（89歳） ●南アフリカ、バーナード博士、初の心臓移植（12月21日死亡）

1968

◆昭和43年

- 高室バイパス完成 ●観音寺東幼稚園園舎完成 ●観音寺東小学校体育館完成 ●市港湾センター竣工 ●室本海岸埋立工事完成 ●文化財愛護都市宣言 ●市内に大雪降る

●OAPEC結成 ●えびの地震（宮崎） ●アメリカ、キング牧師暗殺事件 ●小笠原諸島返還日米協定調印 ●厚生省、イタイイタイ病を公害病と認定 ●アメリカ、ロバート・ケネディ上院議員暗殺事件 ●札幌医大、和田寿郎教授、日本初の心臓移植手術、83日後患者死亡 ●メキシコ・オリンピック ●川端康成、ノーベル文学賞授賞 ●3億円強奪事件

1969

◆昭和44年

- 柞田幼稚園園舎増築工事完成 ●常磐幼稚園増築工事完成 ●高室小学校本館工事完成 ●市救急業務開始 ●肢体不自由児のための施設「あさひの家」開設 ●学校給食センター完成業務開始

●東大、安田講堂陥落 ●中国・ソ連、ウスリー川国境ダマンスキー島で衝突 ●フランス、ドゴール大統領就任 ●好景気連続43ヶ月目、戦後最長記録（いざなぎ景気） ●政府、初の「公害白書」を発表 ●東名高速道路、全線開通 ●原子力船「むつ」進水 ●アメリカ・アポロ11号、月面「静かの海」に着陸 ●日本登山隊、アイガー北壁直登 ●佐藤・ニクソン会談、沖縄返還決定



第2回銭形まつり花火（昭和42年8月）



中出に設置された交通信号機（昭和42年）



一ノ谷公民館落成式（昭和43年1月）



空から見た観音寺市(昭和43～45年頃)



生まれ変わる駅通商店街(昭和48年)



給食センター調理作業風景(昭和48年)



落合橋の落成を祝って渡り初め(昭和49年3月)

1970

◆ 昭和45年

●伊吹航路「いぶき」就航●観音寺南小学校本館完成●染川橋完成●市民憲章制定●市民会館竣工●三豊干拓地造成工事完成●柳町商店街を車両通行止めに

●東大宇宙研究所、ラムダ4S型5号機打ち上げに成功(世界で4番目)
●日本万国博覧会(～9月13日)●カンボジア、クーデター、ロン・ノル
将軍らシアヌーク元首追放●日航機「よど号」ハイジャック事件●中
国、初の人工衛星打ち上げに成功●ペルー大地震●インドネシア、
スカルノ前大統領死去●歩行者天国開始●国連25周年記念首脳
総会●三島由紀夫割腹自殺事件



みかん選果場(昭和49年頃)

1971

◆ 昭和46年

●三豊地区広域市町村圏振興事務組合発足●高齢者医療費助成開始

●札幌国際冬季スポーツ大会開幕●成田空港建設工事、第1回強制代執行●第31回世界卓球選手権大会開催(名古屋)●天皇・皇后、
広島の実験慰霊碑に初の参拝●ソ連、ソユーズ11号打ち上げ(サリュ
ットとドッキング、史上初の宇宙ステーション誕生)●沖縄返還協
定調印式●環境庁発足●ソ連・インド平和友好協力条約調印●国
連総会、中国代表権問題決着●インド・パキスタン、戦争突入



昭和45年完成の市民会館(写真は49年農業祭)

1972

◆ 昭和47年

●豊田小学校第2期工事完成●常磐公民館改築工事完成●常備消防が広域行政に移行●豊田幼稚園増築工事完成●特急「しおかぜ」観音寺駅停車

●グアム島、生き残り元日本兵横井庄一さん発見、救出●札幌冬季
オリンピック開幕●連合赤軍、あさま山荘事件●大阪、千日デパート・
ビル火災事故118人死亡●沖縄施政権返還、沖縄県発足●アメリカ、
ウォーターゲート事件●田中角栄内閣成立●ミュンヘン・オリンピッ
ク大会●日中共同声明発表●上野動物園、パンダ初公開

1973

◆ 昭和48年

●常磐小学校体育館完成●乳幼児医療無料化●伊吹給水船「ひうち」就航・給水開始●駅前広場拡張●公共下水道事業着手●柞田小学校校舎改築工事完成●中部中学校本館増築工事完成●東公民館完成●西公民館完成●木之郷公民館完成

●ベトナム和平協定調印●変動相場制開始●熊本地裁、水俣病で
患者側勝訴の判決●春闘史上初の交通ゼネスト●資源エネルギー
庁設置●金大中事件●筑波大学発足●第4次中東戦争●江崎玲
於奈博士、ノーベル物理学賞を受賞●関門橋開通



NHK「ふるさとの歌まつり」宮田輝氏がうたん作りに挑戦(昭和49年)

1974

◆ 昭和49年

●三豊総合運動公園開園●市の木・市の花の制定●老人憩の家「琴陽館」開館●観音寺中学校校舎第2期工事完成●伊吹し尿処理場完成●市総合振興計画策定●柞田幼稚園園舎完成●観音寺幼稚園園舎完成

●日中貿易協定調印●フィリピンバング島、元日本兵小野田寛郎
さん30年ぶりに帰還●伊豆半島沖地震●日本消費者連盟発足●台
風8号、中部以西で死者・行方不明155人●連続企業爆破事件●ハ
ーグ事件。日本赤軍、オランダのフランス大使館占拠事件●東京・西
新橋三井物産本社爆発事件●ローマで国連世界食糧会議開催●
佐藤前首相、ノーベル平和賞受賞式出席



建設が進む観音寺中学校校舎(昭和49年2月)



「第1回観音寺健康マラソン大会」(昭和58年4月)

1975-1984

昭和50年代

1970 (昭和45) 年から1974 (昭和54) 年にかけて建設された「三豊総合運動公園」は、
三豊郡・観音寺市 (1市9町) の人々のレクリエーションと憩いの場として、
多くの人々に利用されています。



伊吹島海底導水管完成 (昭和59年6月)

Close Up

昭和50年代◆クローズアップ

一九七五(昭和五十)年にスタートした加藤市長時代は、「健康でうるおいのある家庭づくり」「参加し助け合う地域社会づくり」「三豊の中核都市としての豊かなまちづくり」を目標に、都市基盤と生活環境の整備、産業経済の振興、健康の増進と社会福祉の推進、教育文化スポーツの振興などが図られました。

五十四年には、母神山のふもとに四十五年から建設が進められていた三豊総合運動公園が完成を迎えました。体育館、陸上競技場、野球場、児童遊園地、テニスコートなどのスポーツ施設のほか、公園周辺には母神山古墳群やミニ二十八カ所めぐりなどがあり、散策や憩いの場としても親しまれています。

また、同年、観音寺市下水浄化センター、県立体育館が完成。五十六年には、四月から一市九町の三豊地区広域市町村圏振興事務組合においてコンピュータが導入され、住民情報、税計算事務などの共同処理が行われるようになりました。五十七年十月には、東海道と中仙道が交わる宿場町として古くから栄



完成した観音寺市下水浄化センター(昭和54年3月)

えた滋賀県草津市と姉妹都市縁組みを結びました。草津市は室町時代の俳諧の祖・山崎宗鑑の出生地で、宗鑑



多くの人達に利用されている三豊総合運動公園

の出生地である草津市と終焉の地である観音寺市は、この偉大な先人を偲び、宗鑑句会、文化交流など互いの

活動を通じて
友好を深めて
いるほか、毎年、
各分野に渡る
活発な交流が
行われています。
二十六年に
着工された一
の谷川の河川
改修工事は、総
延長四、八七〇

mに及び、五十六年をもって当初の計画工事は完成。翌五十七年、加麻良神社境内に一の谷川改修記念碑が建立されました。



草津市との姉妹都市提携調印式

人と人の絆、昔の伝統文化が息づく地域の祭りを大切に

齋藤 雄治 さん

昭和27年生まれ、52歳、粟井町 養鶏業



生まれも育ちも観音寺です。一時期を関東で過ごしましたが、二十五歳でふるさとの粟井町に帰って来て現在に至っています。昔と違って今は驚くほど物や情報が豊かで便利になりました。道路や街並みが整備されたとはいえ、街自体は大きく変わったところはありませんが、全体に元気がないように思います。

私は、粟井地区に伝わる粟井神社の秋祭りが好きです。昔ながらの厳粛な雰囲気で行われる祭りで、絢爛豪華な太

鼓台も奉納され、町内の老若男女が一同に集まって秋の一日を楽しみます。こうした地域の行事は、年々数少なくなっており、観音寺市の自慢として次の世代に引き継いでいきたいと思っています。

観音寺市は、自然が豊かで、山の幸、海の幸に恵まれ、食べ物がいしく、人情味豊かな人々がたくさん住んでいます。こうした日々の暮らしの一つひとつが私にとつての思い出です。自然や人との絆を大切にしていきたいですね。



西保育所完成 (昭和50年)



興昌寺山の自然遊歩道「ミニお四国コース」開設 (昭和50年)



台風17号で増水した川 (昭和51年)



市営住宅「宮下団地」100戸完成 (昭和53年)



東小学校校舎完成 (昭和50年)



茂木浄水場落成 (昭和54年)



伊吹開発総合センター完成 (昭和54年)



下水道終末処理場(浄化センター)完成 (昭和54年)

1975

◆昭和50年

●観音寺東小学校校舎完成 ●自然遊歩道の設置
 ●伊吹小学校校舎改築第2・第3期工事完成 ●西
 保育所完成 ●養護老人ホーム「七宝荘」開設 ●移
 動図書館開始 ●伊吹小学校・中学校完全給食開始
 ●山陽新幹線、岡山・博多間開業 ●日本女子登山隊、エベレスト登
 頂に成功 ●佐藤栄作元首相死去 ●初の国際婦人年世界会議開催(メ
 キシコ市) ●第89回ウィンブルドン大会で沢松和子選手組優勝 ●ア
 メリカ・ソ連宇宙船、ドッキング ●沖縄海洋博開幕 ●天皇・皇后、アメ
 リカ訪問 ●3億円事件、時効成立

1976

◆昭和51年

●中部保育所建設工事完成 ●豊田公民館建設工
 事完成 ●柞田小学校体育館竣工 ●三豊総合運動
 公園陸上競技場完成 ●伊吹塵芥焼却炉完成 ●四
 国横断自動車道路線発表 ●台風17号大雨を降らす
 ●中国、周恩来首相死去 ●宅急便スタート ●鹿児島市立病院で5つ
 子誕生 ●日本、初の実用衛星「うめ」打ち上げ ●中国、天安門広場
 乱闘事件 ●植村直己、北極圏単独犬ぞり旅行に成功 ●モントリオ
 ル・オリンピック大会開催 ●ロッキード事件、田中角栄前首相逮捕 ●
 中国、毛沢東首席死去

1977

◆昭和52年

●伊吹航路「ことひき」就航 ●木之郷大橋開通 ●
 三豊中学校改築工事完成 ●昭和橋開通 ●高室小
 学校改築工事完成 ●観音寺警察署新庁舎竣工
 ●東京・高縄、青酸コーラ殺人事件 ●インド、ガンジー首相辞任 ●日
 本初の「原始の火」とも ●初の気象衛星「ひまわり」、アメリカケ
 ネディ宇宙センターから打ち上げ ●小・中学校新学習指導要領告示、
 「君が代」国歌に ●原水爆禁止統一世界大会国際会議開催(広島)
 ●プロ野球巨人軍王貞治通算756号世界記録を樹立、国民栄誉賞
 受賞 ●日本赤軍、日航機ハイジャック ●横田めぐみさん拉致事件

1978

◆昭和53年

●市営住宅宮下団地100戸完成 ●粟井小学校校
 舎改築工事完成 ●し尿処理第3次処理施設工
 事完成 ●中央児童公園完成 ●伊吹電気導入事業増
 強事業完成 ●瀬戸大橋着工
 ●伊豆大島沖地震、マグニチュード7.0 ●東京外為市場、1ドル＝
 220円の大口割れ ●新東京国際空港開港 ●国連軍縮会議開催 ●
 宮城県沖地震、マグニチュード7.4 ●イギリス、世界初の試験管ベビ
 ー誕生 ●日本・中国、平和友好条約調印 ●郵政省、音声多重放送で
 NHK・民放7社に予備免許 ●本四架橋、児島・坂出ルート着工

1979

◆昭和54年

●下水浄化センター完成 ●中央公民館・共同福祉
 施設・働く婦人の家完成 ●柞田保育所開設 ●県立
 香川西部養護学校開校 ●常磐小学校校舎増改築
 工事完成 ●市道仮屋山田線完成 ●伊吹開発総合
 センター完成 ●茂木浄水場落成 ●県立三豊体育
 館竣工
 ●アメリカ・中国、国交正常化 ●カンボジア人民共和国樹立 ●国公
 立大、初の共通1次試験実施 ●三菱銀行強盗人質事件(梅川
 事件) ●札幌、小学生誘拐事件 ●アメリカ、スリーマイルズ島原子力
 発電所放射能漏れ事故 ●イギリス、サッチャー首相誕生 ●東京サミ
 ット ●東名高速日本坂トンネル追突事故 ●アフガニスタン、クーデタ
 ー発生、ソ連介入



移動図書館車「ことひき」スタート(昭和50年)



怪じゅうの丘オープン(昭和50年4月)



香川用水阿讃トンネル下口(昭和50年)



市営住宅「下津団地」64戸完成 (昭和56年)



南小学校改築工事完成 (昭和56年)



姉妹都市提携の協定書に署名する両市市長 (昭和57年10月)



姉妹都市草津市の「宿場まつり」



社会福祉センターオープン (昭和58年1月)

1980

◆ 昭和55年

● 特別養護老人ホーム「豊恩荘」開設 ● 高室保育園開設 ● 三豊地区電算センター完成 ● 駅通り植田線・丸詫線・池田線立体及び高架工事完成 ● 郷土資料館開館

● IMF、中国加盟を承認、台湾脱退 ● ジンバブエ独立 ● アメリカ、セントヘレンズ山大噴火 ● 大平首相、急死 ● 日本、婦人差別撤廃条約に署名 ● モスクワオリンピック ● イラン・イラク、全面戦争へ ● 巨人軍長嶋監督辞任 ● 川崎市、浪人学生金属バット両親惨殺事件 ● アメリカ、ジョン・レノン射殺事件

1981

◆ 昭和56年

● 伊吹診療所改築工事完成 ● 四国横断自動車道確認書調印、杭打式実施 ● 観音寺南小学校改築工事完成 ● 市営住宅「下津団地」64戸完成

● ギリシャ、ECに加盟 ● ローマ法王ヨハネ・パウロ2世、日本初訪問 ● 神戸ポートアイランド博（ポートピア'81）開会 ● アメリカ、レーガン大統領暗殺未遂事件 ● アメリカ宇宙連絡船コロンビア打ち上げ ● フランス大統領にミッテラン氏 ● オタワ・サミット ● 丸山ワクチン、治療薬として生産続行決定 ● エジプト、サダト大統領、暗殺事件 ● 福井謙一京大教授、ノーベル化学賞受賞

1982

◆ 昭和57年

● 豊田小学校校舎増改築工事完成 ● 柞田小学校校舎増改築工事完成 ● 野外音楽堂完成 ● 滋賀県草津市と姉妹都市協定締結 ● 常磐幼稚園園舎増改築工事完成

● 東京、ホテル・ニュージャパン火災事件 ● 日航機、羽田空港着陸失敗墜落事故 ● 東京金市場オープン ● イギリス・アルゼンチン、フォークランド紛争勃発 ● 日本人の死因、ガンがトップに ● 九州西北部に集中豪雨、長崎市の死者・行方不明299人 ● 松山市ホステス殺害死体遺棄事件 ● モナコ、グレース王妃、自動車事故死 ● 北炭夕張炭鉱、閉山決定 ● 上越新幹線（大宮～新潟）開業

1983

◆ 昭和58年

● 社会福祉センター完成 ● 伊吹保育所完成 ● 琴浜歩道橋完成

● 中川一郎自民党代議士、自殺 ● 青木功、ハワイアンオープンでアメリカツアー初優勝 ● 日本海中部地震、死者・行方不明104人 ● 戸塚ヨットスクール事件 ● フィリピン、アキノ元上院議員暗殺事件 ● ソ連、大韓航空機、ミサイル撃墜事件 ● 伊豆七島三宅島噴火、阿古地区に溶岩流れ込み410戸全壊 ● 試験管ベビー誕生 ● アメリカ、レーガン大統領来日 ● 自民党・新自由クラブ、国会内統一会派を結成

1984

◆ 昭和59年

● 15年ぶりの大雪 ● 伊吹島への上水道海底送水管敷設工事完成 ● 一ノ谷小学校校舎増改築工事完成 ● 一夜庵改修 ● 健康都市宣言 ● 非核平和都市宣言

● アメリカ、レーガン大統領、ハイ・フロンティア計画発表 ● 大沢商会倒産、負債総額1,250億円 ● 江崎グリコ社長誘拐事件 ● ロンドン・サミット ● 厚生省、世界一長寿国を宣言、平均寿命、男74.2歳、女79.78歳 ● ロサンゼルス・オリンピック（第23回）開幕 ● 長野県西部地震、木曾郡王滝村で死者行方不明29人 ● イギリス・中国、1997年の香港返還合意文書に仮調印 ● インド、ガンジー首相暗殺事件 ● 1万円、5千円、千円の新札発行



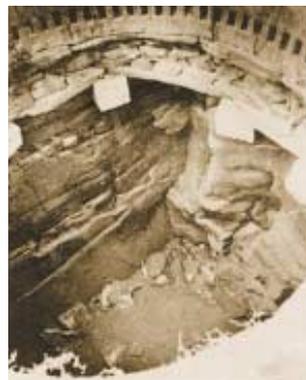
粟井奥谷地区園場整備状況（昭和59年6月）



セントラルパーキング落成（昭和59年9月）



観音寺市と伊吹島を結ぶ海底送水管敷設工事（昭和59年）



伊吹島の人々の暮らしを支えた「ヒラヤの泉」



新琴弾橋開通を祝って3世代家族渡り初め(平成5年4月)

1985-1994

昭和から平成へ

1993(平成5)年の東四国国体の開催に向けて、観音寺では数年前から準備に取りかかりました。
街中を飾る花づくり、大会セレモニーでの吹奏楽演奏や集団演技の練習など、
子どもからお年寄りまで市民総出で取り組み大会を盛り上げました。



観音寺東小学校の児童による国体炬火リレー(平成5年)

Close Up

昭和から平成へ◆クローズアップ

一九八七(昭和六十二年)年、待望の四国横断自動車道善通寺〜三島間が開通しました。着工に先駆けて行われた埋蔵文化財の大規模な発掘調査では、古代から中世の生活跡遺



横断道の発掘調査で遺跡が続きと発見された(昭和61年)

構が続々と発見されました。翌六十三年には、アメリカ合衆国ウィスコンシン州第三の都市アップルトン市との姉妹都市縁組みが行われました。アップルトン市在住の観音寺市出身者を通じて以前から市民レベルでの交流が続けられていたもので、現在も親善訪問や高校生のホームステイなど活発な交流が行われています。

また同年、有明町に世界の貨幣や記念コインを展示する「世界のコイン館」が完成し、観音寺市の新名所となりました。入口前の広場には時報

の度に世界の人形たちが姿を見せるからくり時計が設置され、人気を呼んでいます。

平成五年には東四国国体が行われ、観音寺市は成年女子ソフトボールと新体操の会場となりました。その年の一月には市立総合体育館が完成し、落成記念行事として全日本新体操選手権が開催され、四月には待望の「新琴弾橋」が開通。周囲の景観に配慮したデザインで、夜間は光ファイバーによって照明が七色に変化し、幻想的な光景を見せてくれます。十月に開催された東四国国体本番は、市民総出の協力によって大成功に終わりました。

平成六年には、観音寺市が市制四十周年を迎え、市民会館では記念式典が盛大に行われました。姉妹都市の米国アップルトン市からも市長ら



銭形まつりに参加したアップルトン市長一行



世界のコイン館完成(昭和63年)

がお祝いにつけ、市民文化祭や福祉まつりにも参加して市民から熱い歓迎を受けました。

自然が豊かで、人が温かく、子育てするのに素晴らしい環境

三谷 ひろみ さん

昭和32年生まれ、47歳、室本町
三豊・観音寺地域子どもセンターボランティアメンバー代表



結婚して観音寺市に来ました。周辺の郡部の人間にとつては、観音寺市はにぎやかなあこがれの"City"。私も高校時代は観音寺に通っていました。学校の帰りに、よく有明浜へ行って波の音を聞きました。不思議なくらい心が満たされたのを憶えています。子どもが生まれてからは、琴弾公園のブランコによく連れて行きました。桜の季節や暑い夏、海へ行つたことも多い思い出です。成長期のふるさととの関わりは、その後の人間形成に大

きく影響すると思います。いつまでも、子育てするのに素晴らしい環境の街であつてほしいものです。観音寺の自慢は、お魚や野菜がおいしいこと。外へ出た人は必ず食べ物がおいしかったことを懐かしんでいるようです。昔に比べて便利になつたので、今は都会に住みたいとは思いません。若い人たちが戻って来て、活気のある街になつてほしいし、そのためにも、地元の人や文化をもっとアピールできたらいいなと思います。



観音寺～多度津間で電車運転開始(昭和62年)



3カ年計画で校舎増改築されることになった常磐小学校(昭和60年)



四国横断自動車道(高松自動車道)開通(昭和62年12月)



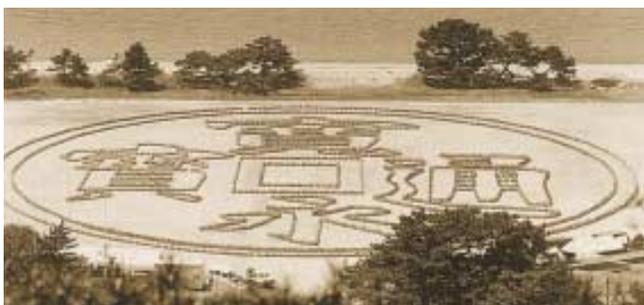
世界のコイン館オープン(昭和63年)



第1回ちようき祭り開催(昭和63年)



伊吹中学校の校舎と体育館完成(昭和63年11月)



第1回銭形花祭開催(平成元年)

1985

◆ 昭和60年

●市営住宅東丸山団地24戸完成 ●第2次観音寺市総合振興計画策定 ●四国横断自動車道関連に伴う埋蔵文化財発掘調査実施 ●八幡町・有明町住居表示実施

●ハレー彗星観測用の惑星探査機MSIT5打ち上げ ●ソ連、ゴルバチョフ共産党政治局員、書記長に就任 ●科学万博(つくば'85)開催 ●日本電信電話株式会社(NTT)、日本たばこ産業株式会社発足 ●世界大都市サミット会議(東京) ●本四架橋の大鳴門橋(1,629m)開通 ●日航ジャンボ機墜落事故 ●ロス疑惑(三浦事件) ●メキシコ、マグニチュード8.1の大地震 ●関越自動車道全線開通

1986

◆ 昭和61年

●三豊クリーンセンター開設 ●三豊総合病院の経営に参画

●アメリカ、スペースシャトル「チャレンジャー」号打ち上げ爆発事故 ●マニラ保険金殺人事件 ●男女雇用機会均等法施行 ●ソ連、チェルノブイリ原発事故 ●イギリス、チャールズ皇太子夫妻、日本訪問 ●日本の対外純資産世界一 ●ペルー刑務所大暴動事件 ●東北自動車道、浦和～青森間全通 ●伊豆大島、三原山噴火、島民1万300人避難 ●ビートたけし、「フライデー」編集部襲撃事件

1987

◆ 昭和62年

●常磐小学校校舎増改築工事完成 ●四国横断自動車道開通 ●三本松緑地が完成 ●観音寺市地域活性化対策基本構想(リフレッシュ観音寺構想)策定 ●JR高松～観音寺間が電化 ●市営住宅東丸山団地36戸完成

●厚生省、日本初のエイズ患者の存在発表 ●G7、ループル合意発表 ●新生JNR発足 ●日本、1人当たりGNPでアメリカ抜く ●神戸、朝日新聞阪神支局銃撃事件 ●NHK、24時間衛星放送開始 ●俳優石原裕次郎死去 ●アメリカ、ニューヨーク株式市場大暴落(ブラックマンデー) ●ゴルフ、岡本綾子アメリカツアー賞金王に決定 ●利根川進博士、ノーベル賞受賞

1988

◆ 昭和63年

●アメリカ合衆国アップルトン市との姉妹都市提携協定締結 ●瀬戸大橋博に四市共同館出展 ●瀬戸大橋開通 ●JR岡山～観音寺間に直通電車が走る ●伊吹中学校校舎屋内運動場完成 ●世界のコイン館開館 ●伊吹地区テレビ共同受信施設設置

●オーストラリア、建国200周年式典 ●青函トンネル開業 ●マル優原則廃止 ●瀬戸大橋開通 ●ソ連、アフガニスタンからの撤退開始 ●ソウルオリンピック開催 ●アメリカ、スペースシャトル「ディスカバリー」打ち上げ成功 ●リクルート事件、リクルートコスモス社社長室長を逮捕 ●大相撲、横綱千代の富士46連勝達成(53連勝でストップ) ●ソ連、アルメニア地震

1989

◆ 平成元年

●三豊広域防災センター完成 ●(社)観音寺市シルバー人材センター設置 ●銭形花祭開催 ●教育都市宣言 ●第2次住居表示実施(南の一部・琴浜・大浪・瀬戸地区) ●新高松空港開港

●昭和天皇崩御、新元号「平成」に決定 ●伊藤みどり、89年フィギュア世界選手権大会のチャンピオンに ●消費税スタート ●女優和泉雅子、北極点到達 ●中国天安門事件 ●美空ひばり死去 ●参議院議員選挙、自民党惨敗、社会党圧勝 ●アメリカ、サンフランシスコ大地震 ●アメリカ、パナマに侵攻 ●ルーマニア、チャウセスク政権崩壊



加藤市長を表敬訪問するアップルトン市ドロシー市長(平成元年)



市制35周年記念式典(平成元年10月)



総合コミュニティセンター完成(平成3年10月)



観音寺駅南アムニティ広場とその周辺(平成3年)



高室公民館落成(平成5年5月)



NHKラジオ体操会開催(平成3年8月)



市立総合体育館がオープン(平成4年11月)



国体の新体操で観音寺商業高校が優勝(平成5年)

1990

◆平成2年

●上水道第4次拡張事業竣工 ●新地域経済活性化対策推進地域に選定される ●豊田小学校校舎完成 ●高室幼稚園園舎完成 ●一ノ谷幼稚園園舎完成 ●第3次観音寺市総合振興計画の策定

●本島等長崎市長狙撃事件 ●南アフリカ、黒人解放指導者マンデラ氏釈放 ●ソ連、ゴルバチョフ議長を大統領に選出 ●国際花と緑の博覧会開幕 ●ペルー、新大統領に日系のフジモリ氏当選 ●ソ連、ロシア共和国主権宣言 ●ソ連・北海道、サハリン州の大火傷幼児救出 ●東西ドイツ統一 ●ソ連・ゴルバチョフ大統領、ノーベル平和賞受賞決定 ●天皇陛下、即位の礼

1991

◆平成3年

●観音寺駅南アメニティ広場完成 ●観音寺駅跨線人道橋完成 ●柞田公民館完成 ●保健センター完成 ●市営住宅高屋団地36戸完成 ●総合コミュニティセンター完成 ●馬場下流通業務団地完成

●湾岸戦争、終結 ●広島、橋桁落下事故 ●牛肉オレンジ、輸入自由化スタート ●自衛隊、中東派遣 ●滋賀県信楽町、信楽高原鉄道衝突事故 ●長崎県雲仙普賢岳、大規模火砕流発生 ●大阪地検、イトマン事件で河村良彦らを逮捕 ●ソ連、保守派クーデター ●ノーベル平和賞、ミャンマーのアウン・サン・スーチー女史に決定 ●ソ連、最高会議共和国会議がソ連消滅を宣言

1992

◆平成4年

●粟井公民館完成 ●市営住宅高屋団地42戸完成 ●香川田園テクノポリス開発計画の地域指定を受ける ●伊吹火葬場完成 ●一ノ谷小学校屋内運動場完成 ●有明ふれあい海岸のファミリープール・ファミリーキャンプ場完成 ●市立総合体育館完成

●脳死臨調答申 ●東京佐川事件 ●東海道新幹線「のぞみ」登場 ●アメリカ、ロサンゼルス暴動 ●伊丹十三映画監督、傷害事件 ●PKO法案可決成立(衆議院) ●バルセロナオリンピック ●学校週休2日制スタート ●スペースシャトル「エンデバー」に日本人宇宙飛行士毛利衛さん搭乗 ●映画倫理規程、20年ぶりに改定

1993

◆平成5年

●新琴弾橋完成 ●高室公民館完成 ●市営住宅明星団地6戸完成 ●桐の木線(大野原観音寺線)完成 ●第48回国民体育大会東四国大会開催

●EC統合市場発足 ●チェコスロバキア、チェコとスロバキアに分離独立 ●東京地検、金丸前自民党副総裁を脱税容疑で逮捕 ●日本プロサッカーJリーグ開幕 ●皇太子御成婚 ●ゼネコン汚職事件 ●北海道南西沖地震 ●グアム地震 ●ノーベル平和賞に南アフリカのマンデラ、デクラーク大統領 ●APEC閣僚会議

1994

◆平成6年

●在宅介護支援センター、デイサービス開始 ●市営住宅大池団地15戸完成 ●豊田小学校屋内運動場完成 ●第7回全国健康福祉祭開催 ●伊吹航路「ニューいぶき」就航 ●国道377号線バイパス開通

●アメリカ、ロサンゼルス・ノースリッジ地震 ●ゼネコン汚職で中村前建設相を逮捕 ●ウルグアイ・ラウンド調印 ●イギリス・フランス、ユーロトンネル開通 ●円対ドル相場で100円突破、99円85銭(ニューヨーク市場) ●アメリカ、スペースシャトル打ち上げ、初の日本人女性飛行士、向井千秋さん宇宙へ ●プロ野球オリックスのイチロー、シーズン最多安打記録達成 ●北海道東方沖地震マグニチュード8.1 ●ノーベル文学賞、大江健三郎氏に決定 ●三陸はるか沖地震



豊田小学校屋内運動場が完成(平成6年)



国道377号(三豊地区)バイパス開通(平成6年2月)



ニューいぶき就航(平成6年7月)



春の甲子園大会で初優勝した観音寺中央高校野球部(平成7年4月)

1995-2004

20世紀から21世紀へ

1995(平成7)年3月、観音寺中央高校が春の選抜高校野球選手権大会に出場し、初出場初優勝という快挙を成し遂げました。さらに夏の大会にも連続出場。観音寺市民一丸となって熱く燃え、忘れられない年となりました。



20世紀最後の記念に(平成12年12月)

Close Up

20世紀から21世紀へ◆クローズアップ



「日本の渚百選」に選ばれた有明浜

一九九五(平成七)年三月、春の選抜高校野球選手権大会に初めて出場した観音寺中央高校は、決勝戦でも銚子商業を四対〇で破り、みごと初優勝。同じく初出場となった夏の大会では二回戦で惜しくも敗れたものの、奔放で明るく高校生らしいのびのびとしたプレーが全国にさわやかさを印象づけ感動を呼びました。

翌八年には、観音寺の名勝有明浜が、豊かな自然とその美しい景観から「日本の渚百選」に選ばれ、さらに



中国即墨市と友好都市締結調印式(平成12年)

十二年の七月に友好都市となった中国の即墨(そくぼく)市は、黄海に面した人口一〇六万人の農業や水産業が盛んな町。地域内に経済特区が設けられ、アメリカ・日本・ドイツなど十カ国以上の企業が進出しており、平成六年に観音寺市内に本社のある企業が即墨市に合弁会社を設立したのがきっかけとなり、以来、互いに交流を深めてきました。

十四年には、柞田川支流の粟井川に観音寺市の新しい水瓶「粟井ダム」が完成しました。粟井川の洪水調節・

十年には環境庁の「日本の水浴場五十五選」清潔安心楽しい水辺」にも選定されました。こちらは、水がきれいであることが第一条件であり、銭形まつりなどのコミュニティ活動が盛んで、地形的にも安全であることもその理由です。

同じく十年の

農業用水や河川維持用水の補給・市内の水道用水の供給など多目的に活用されます。



粟井ダム完成(平成14年)

人が親切で、互いに助け合って生きている暮らしやすい街



大西 富士子 さん

昭和48年生まれ、30歳、柞田町主婦

村黒町で二十一歳まで過ごし、結婚して九年にになります。

私の人生の中で最も印象に残っているのは、観音寺市のスーパーで働きながら、観音寺第一高校の定時制に通っていた頃です。それまで父と母が一生懸命働いて、兄・姉・私を育ててくれました。いつも感謝の気持ちでいっぱいです。こちらに来てからも、周りのみなさんにはとても親切にしてくださいまして、本当にありがたいです。

私は、毎年四月二十九日に行われる「寛永通宝」銭形の砂ざらえにボランティアで参加していますが、観音寺市には、いろんな相談所やボランティアの会がたくさんあって、人々が助け合って生活しているように思います。私はそんな観音寺が大好きです。

昔に比べると、コンビニや飲食店がたくさんでき、病院も増えて、とても便利になりました。これからも、観音寺市のいいところを残しながら、住みやすい街であり続けてほしいと思います。



上市商店街ランドオープン(平成9年)



観音寺中央高校初めての甲子園へ(平成7年3月)



第47回全日本学生新体操選手権大会(平成7年7月)



観音寺市国際交流協会設立総会(平成10年6月)



かんおんじ生涯学習推進大会(平成9年9月)



高校総体の自転車競技(平成10年8月)

1995

◆平成7年

●生涯学習推進本部生涯学習推進協議会設置 ●行政改革推進本部を設置、行政改革大綱及び行政改革大綱実施計画策定 ●競輪場東スタンド完成

●世界貿易機関発足 ●阪神・淡路大震災 ●スキーW杯、荻原健司総合3連覇達成 ●地下鉄サリン事件 ●アメリカ連邦政府ビル爆破事件 ●松本サリン事件でオウムの12人逮捕 ●アメリカ、大リーグの新人王にドジャースの野茂英雄 ●高速増殖炉「もんじゅ」ナトリウム漏れ事故 ●住専不良債権処理に公的資金導入決定



はがみ苑完成(平成10年)

1996

◆平成8年

●粟井小学校屋内運動場完成 ●市道財田川右岸線改築完成 ●防災行政無線施設完成 ●ふれあい文化センター完成 ●文化振興基金創設 ●財務会計システムによる予算編成

●橋本龍太郎内閣発足 ●スペースシャトル「エンデバー」若田光一さん搭乗 ●北海道豊浜トンネル崩落事故 ●O-157食中毒事件 ●アトランタオリンピック ●国産初の実用H2ロケット打ち上げ成功 ●薬害エイズ事件 ●ペルー、日本大使公邸占拠事件



国民文化祭吹奏楽フェスティバル(平成9年)

1997

◆平成9年

●国民文化祭かがわ開催 ●生涯学習情報提供システム稼働 ●財務会計システム稼働 ●ふるさとダービー観音寺開催 ●競輪場選手管理棟完成 ●防災無線の導入 ●上市商店街の近代化 ●行政機構改革(部制の廃止) ●全国中学校体育大会(新体操) ●中学校コンピューター導入

●ナホトカ流出重油事故 ●イギリス、世界初のクローン羊「ドリー」誕生 ●消費税5%に引き上げ ●冒険家河野兵市、単独徒歩で北極点に到達 ●神戸市須磨区小学生殺害事件 ●香港、中国に返還 ●イギリス、ダイアナ妃交通事故死 ●マザー・テレサ死去(87歳) ●サッカー日本代表、悲願の本大会出場を決める ●ポケモン騒動



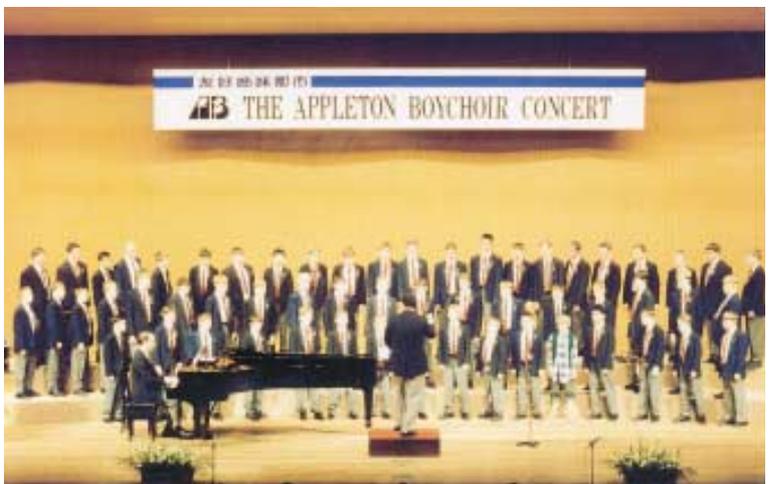
アップルトン市少年合唱団もちつきに挑戦(平成11年)

1998

◆平成10年

●第1回観音寺国際音楽フェスティヴァー開催 ●高室小学校屋内運動場完成 ●競輪場選手管理棟完成 ●ふるさとダービー観音寺開催 ●坂本1号線完成 ●競輪場選手宿舎完成 ●老人保健施設「はがみ苑」完成 ●公共下水道第2ポンプ場完成 ●全国高等学校総合体育大会(自転車競技) ●小学校コンピューター導入 ●山王流通業務団地完成

●長野冬季オリンピック ●金融制度改革スタート。金融ビッグバン ●明石海峡大橋開通(世界最長) ●北アイルランド紛争和平交渉合意 ●中央省庁等改革基本法、可決成立 ●W杯サッカーフランス大会、開催国フランス優勝 ●和歌山毒物カレー事件 ●世界遺産に東大寺、平城京跡地登録



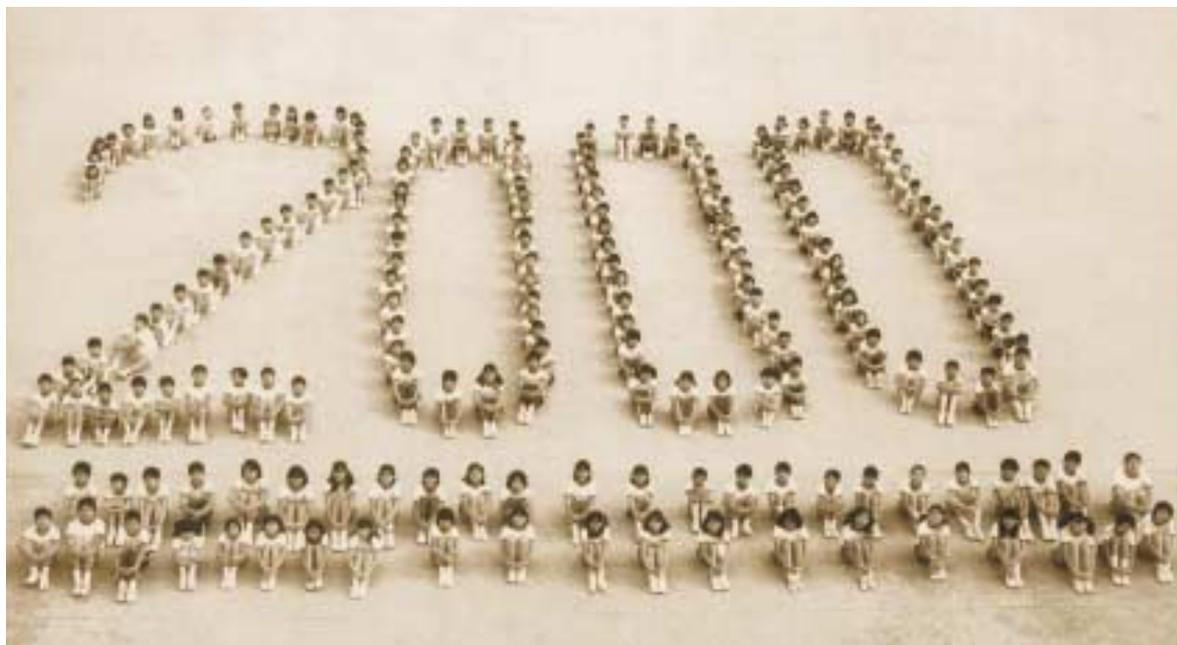
アップルトン市少年合唱団来観コンサート(平成11年)

1999

◆平成11年

●第1回ふれあい子どもまつり開催 ●観音寺港観音寺地区湾港環境整備事業着手(～平成22年度) ●姉妹都市アップルトン市から少年合唱団来観 ●粟井ダム定礎式 ●「観音寺ケアセンター」完成

●ヨーロッパ通貨統合による単一通貨ユーロ誕生 ●日本初の脳死臓器移植手術 ●実質金利ゼロ ●東京都知事に、石原慎太郎 ●国旗国歌法公布施行 ●神奈川県警不祥事 ●アメリカパナマ運河返還



21世紀へはばたけ観音寺の子どもたち(平成12年1月)



一夜庵の屋根葺き替え工事落成(平成12年11月)



新しい学校給食センター完成(平成12年)



観音寺市立図書館完成(平成16年12月)

2000

◆平成12年

●介護保険制度スタート●精神障害者生活訓練施設「しらさぎ荘」完成●中国即墨市と友好都市締結●一ノ谷総合コミュニティセンター完成●「一夜庵」の屋根16年ぶりに葺き替え●新しい学校給食センター完成●観音寺市衛生センター稼働

●新潟女性監禁事件●電力小売自由化スタート●介護保険制度スタート●南北朝鮮首脳会談●雪印食中毒事件●沖縄サミット●シドニーオリンピック●マラソンの高橋尚子、国民栄誉賞受賞●アメリカ、大統領にブッシュ当選●デジタル放送開始



「草津宿場まつり」に参加した本若太鼓(平成13年4月)

2001

◆平成13年

●ごみの分別収集開始●木の郷コミュニティセンター完成●第4次観音寺市総合振興計画策定●観音寺市コミュニティ防災センター完成●草津市の「草津宿場まつり」に「本若太鼓」が参加●IT(情報通信技術)講習スタート●粟井ダム湛水式

●1府12省庁スタート●えひめ丸沈没事故●芸予地震、広島で震度6●家電リサイクル法施行●小泉純一郎内閣発足●日本初の代理出産●イスラエル、初のワーグナー演奏●アメリカ、同時多発テロ●WTO(世界貿易機関)、中国及び台湾の加盟を承認●皇太子妃・雅子様、内親王出産、命名は敬宮愛子(としのみやあいこ)



観音寺東小学校創立50周年(平成14年)

2002

◆平成14年

●観音寺南小学校創立120周年●粟井ダム完成●観音寺市民会館で「NHKのど自慢」公開録画●住民基本台帳ネットワークシステムの運用スタート

●ヨーロッパ単一通貨「ユーロ」現金流通開始●「千と千尋の神隠し」(宮崎駿監督)、ベルリン国際映画祭で金熊賞●ベイオフ凍結解除●学校完全週休2日制スタート●W杯サッカー日韓大会●国連、スイスの加盟承認●ノーベル物理学賞に小柴昌俊東京大学名誉教授、ノーベル化学賞に島津製作所の田中耕一氏●拉致事件被害者5人、24年ぶりに帰国●中海・突道湖淡水化事業中止



観音寺市民会館で行われた「NHKのど自慢」予選会(平成14年)



粟井ダム湛水式(平成13年10月)

2003

◆平成15年

●室本・大野原・豊浜漁協が合併し「西かがわ漁協」誕生●大正橋開通●山田産業団地緑地「山田ふれあい緑地」が完成●スポレク香川2003開催

●巨人・松井秀喜、ニューヨークヤンキース入団●スペースシャトル「コロンビア号」空中分解事故●韓国地下鉄放火事件●中国、SARS禍●イラク戦争●日本郵政公社発足●ヒトゲノム解読完了●プロスキーヤー三浦雄一郎エベレスト登頂●世界水泳選手権、平泳ぎ100mで北島康介世界新で優勝●地上波デジタル放送開始(3大都市圏)



台風16号による高潮被害(平成16年8月)



大正橋開通を祝う渡り初め(平成15年8月)

2004

◆平成16年

●NHKジュニアバレーボール教室開催●「かんおんじ男女共同参画プラン」策定●観音寺市・大野原町・豊浜町合併協議会設置●大正橋プラザオープン●8月大雨と台風16号による高潮などにより大きな被害●新しい観音寺市立図書館完成

●トリインフルエンザ、79年ぶりに国内発生●ロシア、モスクワ地下鉄爆弾テロ事件●九州新幹線(新八代~鹿児島中央)開業●消費税、総額表示価格スタート●アメリカ、ランディ・ジョンソン40歳の奇跡、完全試合●自動車リサイクル処理業者許可開始●アメリカ土星探査機「カッシーニ」、土星の周回軌道に到達●性同一性障害特例法施行●アテネオリンピック●新1万円、5千円、千円の新札発行●イチロ-MLB年間最多安打262本新記録

司会／はじめに、自己紹介とあわせて、ふるさと観音寺での「思い出」をお聞かせください。

柴田／私は南小学校で教頭をしています。私自身が南小学校の卒業生で、子ども時代はいつも学年を越えて集団で遊んでいましたね。特に南小では夏休みにソフトボール大会があり、そのためにみんなで練習をした思い出があります。また、いつも周りに大人たちがいて、声をかけてくれていた気がしますが、今の子どもたちにはそうした地域のつながりが少なくなっているように思います。

関子／女流和太鼓「響音」の代表で、演奏活動のほかに、現在は子どもたちと和太鼓を教えています。子ども頃の思い出は、商店街の「土曜デー」で人混みの中を歩いたこと、外で日が暮れるまで遊んだことですね。でも、今の子どもたちには危険が多く、せっかく近くに自然があっても少人数では遊びに行かせられない状況で、可哀想な気がします。

内海／銭形まつり実行委員会です。祭りの企画・運営を行っています。ずっと観音寺で暮らしてきたので、とりたてて何が思い出かといわれても困りますが、みなさんの話を聞いて「うさぎ谷の土管を下りて上がって来られたら一人前」といわれていたことを思い出しました(笑)。

安藤／有明浜の近くで農業をして

思い出が夢を育てる

◆◆◆ふるさとまちづくり座談会◆◆◆

おりまして、農協の青年部で、有明浜の松林を守るために植林や松食い虫の防除を行っています。観音寺から出



昭和40～50年代、土曜デーには銭形踊りも行われにぎわった

たことがないので、全部が思い出としか言いようがありません。この街から出たいとも思いませんし、今が最高です。

富山／私の方は漁協で、活動としては主に海浜の清掃を行っています。思い出といえますと、有明グラウンドや公園の桜が浮かんできますね。

佐川／観音寺市文化協会の会長を務め、個人としては能楽の公演や謡の奉納などの活動をしています。今こそ文化系の仕事をしています。学生時代は観音寺一高の野球部で、財田川、興昌寺、八幡さんの階段、有明の砂浜を、放課後毎日走ったものです。帰りにうどんやお好み焼きを食べ、月謝を使い込んで校長室に呼ばれたこともありました(笑)。

横田／観音寺市柳町商店街振興組

私の周りの人は、一年中寝ても起きても祭りのことを考えている人ばかりですよ。



安藤浩孝さん(八幡町・農業)

- ①JA香川県観音寺支部青壮年部
- ②有明浜の植林・下草刈り・松食い虫の防除
- ③琴弾公園を中心とした山・川・海を彩る秋祭り

人を呼ぶために、何をやるかではなく、自分たちがどれだけ楽しめるかが大切なんです。



内海達士さん(有明町・会社役員)

- ①銭形まつり実行委員会特別企画部・合同調整部会長
- ②銭形まつりの企画並びに運営
- ③海・砂浜・松・空・太陽

身近な問題から見直し、子どももお年寄りも一緒に暮らせるまちづくりを...



岡田幸子さん(植田町・団体職員)

- ①特定非営利活動(NPO)法人「松美会」・華の杜デイサービスセンター理事長
- ②通所介護(デイサービス)事業・居宅介護支援事業
- ③豊かな自然と美しい街・やさしく親切な人々

文化の森ともいえる琴弾公園に、拠点となる文化施設をつくっていただきたいですね。



佐川守一さん(出作町・商業)

- ①観音寺市文化協会会長・観音寺
- ②文化祭・芸術祭・能楽会など参加公演
- ③琴弾公園周辺の文化的環境

合の理事長を務めさせていただいております。私は数年間、観音寺を離れたことがあるのですが、秋祭り初



いつまでも大切にしたいふるさとの原風景「有明浜」

日の日には、どこからか太鼓の音が聞こえるような錯覚を憶えたものです。それほどちようさには思い入れがありましたね。

岡田／私たちは去年から、古い民家をそのまま使ってデイサービスセンターを開設しています。結婚して観音寺に来たのですが、結婚式の時から古い習慣が残っていることにびっくりしました。今思えばそうしたものも脈々と受け継がれているのはいいことかなと思います。

司会／みなさんが街を愛する気持ちがよく伝わってきました。次に、昔の観音寺と今の観音寺とで、何が変わったと思われるですか。

現在各分野で活躍中の人たちの視点から

子ども時代の楽しい思い出が多ければ多いほど、ふるさとはその人の宝物となります。次の世代にこのすばらしいふるさとを残したいと、現在さまざまな分野で活躍している人たちを招き、市長を囲んで、観音寺市への思いとこれからの観音寺市について語り合っていました。

【参加者プロフィール】①所属団体名 ②主な活動内容 ③観音寺市の好きなどころ



観音寺市長 白川晴司

地方が知恵をしばって、市民との協働によるまちづくりを。

富山／家も道路も広くきれいなりましたが、昔より人に元気がないというか、人口は変わらないのに人が減ったような感じがしますね。それと川の水が少ないですよ。

関子／子どもの頃は財田川でザリガニを捕ったり泳いだりしていましたが、先日、子どもと財田川探検に参加しました。商店街に人がいないのを見て、こんなにも汚れているのかと驚きました。うわ変わったなあと思いますね。

横田／私も同じ思いです。それと海の色が変わりました。私たちが小さい頃は、沖に出ても足下まで見えていたのですが、海は経済発展とともに汚れたのかなと思いますね。

内海／一番変わったと思うことは街並みです。道が広くなって、建物がたくさん建って、一方で、子どもが遊ぶ場所がなくなってきました。昔は小さな広場がいくつもあって、みんなで集まって遊んだのですが、何より子どもがいないことが大きな違いですね。

柴田／私が卒業した頃は南小に二、三〇〇人くらいいましたが、今は四七〇人ほどになって、子どもの声も街で聞かれなくなっているなというところは感じています。小中学生の頃は商店街にも人があふれ、土曜の夜が来るとわくわくして、夜市で友だちに会えるのが楽しみです。何も買わないのに何度も行ったり来たりしていました(笑)。

ちようさの運行や祭りの運営に携わる方々の苦勞を子どもたちにぜひ伝えてください。



柴田英明さん(木之郷町・教師)

- ①観音寺市立観音寺南小学校教頭
- ②望ましい人材育成教育のための教育を考える
- ③美しい有明浜・一夜庵・好奇心旺盛な子どもたち

自分たちの活動ふるさとの文化や産業を、次の世代の人たちに受け継いでもらいたい。



関子恵美子さん(有明町・自営業)

- ①女流和太鼓「響音」代表
- ②和太鼓の演奏活動・子どもたちの指導
- ③自然に囲まれ住みやすいところ

五十年前も今も、そして五十年後も変わらないということが観音寺のいいところ。



富山晴良さん(伊吹町・漁業)

- ①伊吹漁業協同組合
- ②煮干しパッチ網漁経営と全体協議会会長
- ③人の和と静けさと緑豊かな環境

商店街に活気を取り戻し、お接待の心を大切にしたい。人間味あふれる街をつくりたい。



横田安男さん(柳町・自営業)

- ①観音寺市柳町商店街振興組合理事長
- ②商業の活性化と街づくり活動
- ③自然環境に恵まれた琴弾公園・人情味あふれる人々

司会／観音寺市らしい個性、これだけは無くしてはならない観音寺市の魅力についてお聞かせください。

柴田／大学時代観音寺を離れていましたが、辛い時、悩んでいる時、思いつくのはやっぱり有明浜の夕日でした。子どもたちも有明浜とは密接に関わっていて、先日も松の調査で一番太い松を探そうということになったのですが、子どもたちは松に抱きついて太さを計っていました。たとえ観音寺を離れることがあっても、有明浜の風景はきつと子どもたちの心に残るだろうと思います。また、観音寺の子どもたちの個性で特徴的なのは、好奇心が旺盛でものおじしないうことです。



朝日に輝く街のシンボル三架橋

横田／よその人からよく人が温かいと言われます。二つの札所があるということ、昔からのお接待の心が受け継がれているからではないでしょうか。それが観音寺らしさであり魅力になっていると思います。近代化されてなくてもいいから、人間味あふれる街をつくりたい、そのキーワードとして「お接待の心」が大事になってくると思っています。

安藤／琴弾公園を中心とした山、川、海、そして観音寺を代表する三架橋をなくしてほしくないですね。有明町での農業が好きだからずっと続けて行きたいと思っています。それと秋祭りは大事にしたいです。私の周りの人は、一年中寝ても起きて

も祭りのことを考えている人ばかりですよ。

司会／人を呼べるまちなするために、必要なものは何だと思われませんか。

関子／市民会館も老朽化しており、「音を観るまち」としては、受け入れ施設の充実をお願いしたいですね。毎回盛況の銭形まつりですが、その陰には実行委員会の人たちの努力があり、人を呼ぶためには人が動かなければだめだと感じました。

内海／銭形まつりは今年



有明浜に群生するハマヒルガオ

で三十九回を迎えますが、第三十回を節目にイベントの見直しを行いました。その時、私たちは大きな間違いを犯していたことに気づいたんです。それは、人を呼ぶために何をするかではなく、自分たちがどれだけ楽しめるかが大切だということです。自分たちが楽しいことをすれば、自然と人が来るんです。住んでいる私たちが楽しく暮らしていれば、街にも人は来ると思います。

横田／市民会館ができた当時、劇団四季が定期公演を行っていた時代もあるんですよ。今、図書館の建設が進んでいますけど、市制施行五十年を記念して、大きくなくてもいいから頻繁に使える施設、市民が憩えるようなホールを復活してほしいなと思います。また、若い人たちから、街に行っても面白くない、食べる遊ぶ場所がないと鋭く指摘されました。もう一度、街の中に必要な機能を取り戻すことが大切だと思います。

岡田／私たちは、デイサービスの中で高齢者の外出支援を行っています。商店街や公共施設に行つてトイレに不自由することがよくあるんです。せつかくいいところがあるので、改善してほしいですね。

柴田／先日、京都の山鉾巡行を観た娘が、ちようさの方が迫力があると言っていました。私たちにはあたりまえのものでも、全国的な視野で見るとすごく魅力的なんじゃないか、それはもつとアピールしてもいいんじゃないかと感じました。同時に、ちようさの運行や秋祭りを継続するために、どれほどの人の努力があるのか、子どもたちにぜひ見せてもらいたいと思います。それが、大人になった時、受け継ぐ力にもなり、観音寺を愛する心



勇壯華麗なちよさば観音寺の誇り

も育つのだと思います。

司会／人が豊かに快適に暮らすために必要なものは何だと思われれますか。

柴田／精神的な豊かさで言えば、子どもたちの中に自分が大事にされている、人から認められているというものがあれば、ちゃんと育つんじゃないでしょうか。子どもたちに目を配り、心のつながりを大切にしていただきたいと思います。今回、憩いの場としての機能をもった図書館ができるということ、期待しています。

図子／みんなが快適に暮らすためには、ゴミ問題など最低限のルールを市民一人ひとりが自覚し、守っていくことが大切だと思いますね。

岡田／老後に向かつて一人で生きて行けるかと考える時、食べること、ゴミの問題、外出できる環境づくりなど生活の基本的な問題が大切になってきます。行政が地域と密着して、そうした小さな視点から見直していただきたいと思っています。

富山／観音寺のいいところは、静かで自然環境が豊かで、そして治安がいいということだと思います。車社会ですから、人を呼ぶためには広い道路と無料の広い駐車場などがあればいいと思いますが、静けさや緑や治安を無くしては絶対いけないと思います。その上で、経済活動を活性化させ元氣な街にしていきたいですね。

司会／最後の質問になりますが、五十年後の観音寺市はどうなっていると思われれますか。

柴田／経済だけでなく、文化や自然愛護の観点からも、引き続き西讃地域の中心的な役割を担ってくれると思っています。そのために、子どもたちには観音寺に対して明るいイメージを持たせていきたいし、観音寺を愛する子どもたちを育てていきたいと思っています。

横田／五十年後という相当な環境の変化があると思いますね。今は東京や大阪に集中している人たちも田舎へ帰ってきて、そこで全国的な仕事ができる時代が来ているんじゃないでしょうか。今より人口も増えて活気のある街になっていると思っています。

図子／太鼓の活動を通して後継者を育てることの難しさを実感しています。自分たちが楽しむだけで終わら

ではなく、次の世代にどう渡して継続していくかということが大切で、有明浜をはじめとする自然環境や農業・漁業、祭りなどすべてがうまく受け継がれていることを期待しています。

富山／近代化されたとはいえ、基本的には五十年前も現在も観音寺の良さは変わっていないので、五十年後もそんなには変わらないんじゃないでしょうか。そのためにも伊吹島をはじめとする島の環境整備と支援をお願いします。

内海／私は今年ちょうど五十歳ですが、小学校の時、図画工作の時間に未来の観音寺を描きました。私も含め多くの子どもが、高層ビルとその間を縫って走る高速道路といった鉄腕アトムの世界のような絵を描きました。大人になってわかったことは、観音寺はそんな街ではないということです。白い砂浜があつて、緑の松があつて、青い海があつて、真っ赤な夕焼けがある、これを守らなくてどうすると、今ひしひしと感じています。観音寺の原風景が、五十年後もさらにきれい



熱い話し合いが行われた座談会風景

になつて残っていることを希望します。

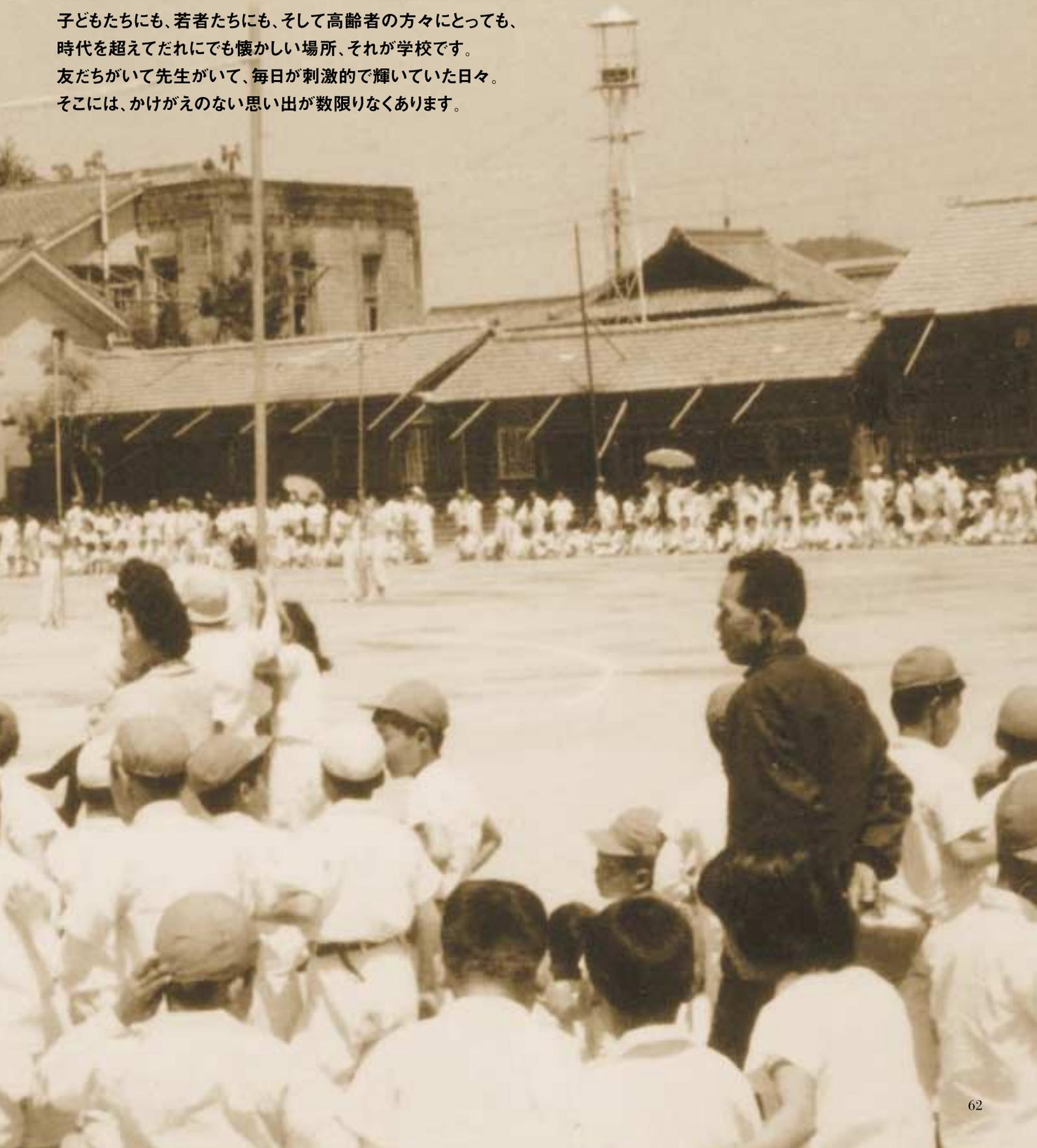
司会／最後に、市長に今後の展望を語っていただきます。

市長／ふるさとに對する思いは、世代が変わってもみんな同じだなと感じています。五十年前の私は小学校四年生でしたが、インフラ整備が進み、当時に比べてずいぶん街がきれいになりました。しかし一方で、物を大切にする心、感謝の心など失われたものもあり、子どもたちの教育も重要になってくるでしょう。ハードとソフト両面同時に取り組みながら、これからも「海と山と川、そして人が織りなす人間味あふれるまちづくり」を目指していきたいと思っています。今日は、各方面でご活躍中の方々にお集まりいただいたわけですが、これからは地方が知恵をしぼって、市民のみなさんとの協働によるまちづくりが大切になってきます。どうか今後ともよろしくお願いいたします。

第4章 ◆写真で見る学校教育の歩み

懐かしい学舎思い出の日々

子どもたちにも、若者たちにも、そして高齢者の方々にとっても、時代を超えてだれにでも懐かしい場所、それが学校です。友だちがいて先生がいて、毎日が刺激的で輝いていた日々。そこには、かけがえのない思い出が数限りなくあります。





明治

一八七二(明治五年)の学制発布によって、
 まず小学校の設立に力が注がれ、
 観音寺市域にもわかつていくだけで十二以上の小学校が誕生しました。



明治19年から小学校の教科書は文部省検定制度となった



水哉小学生に贈られた褒賞授与証



初等科2年修身教科書(大正初期)



踊りを披露する小学生たち(大正の頃)



勤勞奉仕作業にはげむ子どもたち(大正初期)



ぞうりづくりの学習風景(大正初期)

大正

私たちの学舎いま昔

わが国は、米英とともに世界の二等国となり、
先進国としての人格教育・個性尊重の教育が唱えられ、
科学的な思想も進歩しました。



箱づくり工作学習風景(大正中期)



養豚の学習風景(大正中期)



大正初期の授業風景

昭和前期

急速に軍事色を強め、小学校は国民学校と改められ、
農作業や労働にかり出された戦時下。
終戦後は、学校給食が始まりました。



一ノ谷小学校卒業式(昭和10年3月)



裁縫教室の授業風景(昭和10年代)



保健室で目の検診を受ける子どもたち(昭和20年代)



お父さんも頑張る南小の運動会(昭和20年代)



調理実習風景(昭和20年代)



紙芝居に見入る園児たち

私たちの学舎いま昔



カメラの前で緊張さみの園児たち



児童数の多さがわかる朝礼風景



上手に合奏する子どもたち(昭和25年頃)



みんなでそろって歯みがきをする子どもたち(昭和23年頃)



高室中学校(昭和30年代)

昭和後期〜現在

驚くほど近代化が進んだ施設・設備。
急速に進む情報化の波の中で、
人と人とのふれあいを大切にしたい心の教育が進められています。



新しくなった南小の校舎(昭和40年代)



親子で楽しむ地域運動会(昭和40年代)



校庭で元気に遊ぶ子どもたち(昭和40年)



昭和41年当時の写真



交通安全の旗を持って集団登校(昭和60年)

私たちの学舎いま昔



中学校の授業風景(平成4年)



地域の人の指導を受け田植えの体験学習(平成6年)



ふたば保育園もちつき大会(平成4年)



保育園の運動会で親子のふれあい(平成11年)



外国人講師を招いて国際感覚を学ぶ(平成8年)



神恵院のお遍路さん

春になると、白装束に身を包み、杖をつき鈴を鳴らしながら行き交うお遍路さんでにぎわいます。弘法大師の徳を偲びつつ、大師修業の霊場を参拝する信仰の旅は、今も昔も変わらない姿で受け継がれています。

今この時、輝いて。春



高屋神社の春祭り (4月上旬)

稲積神社とも呼ばれ、古くから稲の守護神として崇敬を集めてきました。その年の豊穰を祈る春祭りでは、ちょうさや獅子舞が繰り出し、多くの見物客や参詣者でにぎわいます。

琴弾公園桜まつり (4月上旬)

名勝「琴弾公園」の琴柱池周辺は、桜やツツジ・フジなどの名所として知られ、4月上旬には、満開の桜の下で多くの市民が集い、植木市や「さくら茶会」が催されにぎわいます。



全国奉納絵馬コンクール公募展 (4月29日～5月5日)

琴弾八幡宮が「技芸の神様」としても知られ、毎年全国から自作の絵馬を募集しています。昭和60年から行われており、毎年千数百点に及ぶ絵馬が奉納されます。

銭形春季化粧直し (4月29日)

琴弾公園内の有明浜にある「寛永通宝」銭形では、風雨などによる変形から砂絵を守るため、春と秋の2回、1000人近いボランティアの手によって砂ざらえが行われます。





ふれあい「建干網」(5月上旬)

財田川河口域を仕切るように約150mの網を張り、潮の干満を利用して魚をつかみ取りします。捕った魚はすべて持ち帰ることができ、会場内では水産加工品の販売なども行われます。



プール開き (7月中旬)

有明ふれあい海岸に平成4年に完成したファミリープールではシーズンの到来とともにプール開きが行われ多勢の子どもたちでにぎわいます。



海開き (7月上旬)

白砂が美しい有明浜海水浴場で、待ちに待った海開きが行われます。約2kmにわたる砂浜は遠浅で知られ、中国・四国地方から多くの海水浴客が訪れてにぎわう人気のスポットです。海の家でシーズン中の安全を祈願した後、地元の子どもたちや親子連れが、大きな水しぶきをあげて元気に海に入ります。



粟井あじさい祭り (6月下旬の土・日曜日)

地元の人たちが丹精込めて手入れしたあじさい約3,000株が咲き誇る粟井神社境内で、粟井小学校の鼓笛隊パレード、大正琴の演奏会、お茶会、バザーなど盛りだくさんのイベントが行われます。

今この時、輝いて。夏



銭形まつり (7月中下旬)

地域の盆踊りに代わって、昭和41年から開かれている夏祭り。有明グラウンドをメイン会場に、市内商店街で、総踊り・踊りコンテスト・銭あさり大会・花火など多彩なイベントが繰り広げられます。



今この時、輝いて。秋

琴弾八幡宮秋季大祭(10月第3土・日)

秋祭りの中でも、琴弾八幡宮の例大祭は市を代表する年中行事の一つ。最大の呼び物はなんといっても「ちょうさ」と呼ばれる巨大な太鼓台の競演で、県内外から多くの見物客が訪れます。





銭形秋季化粧直し(10月下旬)

その白砂で「闇夜も明るし」というのでその名がついたという「有明浜」。そこに描かれた砂の芸術「寛永通宝」銭形の砂ざらえが、春同様、ボランティアの人たちの手によって行われます。



子ども相撲

少年育成のために植田天満宮で行われているもので、昭和59年から毎年行われています。



伊吹島の秋祭り

神輿を乗せた船が海上を渡り、浜辺では豪華絢爛な太鼓台がこれを迎えます。大漁旗をかかげた船が島を巡る様は、漁民の心をよく伝えています。





俳句会(11月3日)

遠い昔から多くの俳人たちに愛された観音寺。自然と人がふれあうこの街で、山崎宗鑑を偲んで、毎年恒例の句会が開かれています。



とうとうばやし(1月15日)

栗井神社境内でしめ飾りやお札を燃やし、その火で焼いたみかんなどを食べて無病息災を願います。栗井地区の青少年育成会やボランティアの協力で昭和の終わり頃から開催されており、あめゆや甘酒の接待も行われます。



百々手祭り

昔から西讃地方の農漁村に伝わる年中行事の一つで、春を呼ぶ祀りとして知られ、悪魔退散と五穀豊穡・家内安全を祈願して、射子に選ばれた子どもたちが矢を射ます。



御門弓 (1月7日)

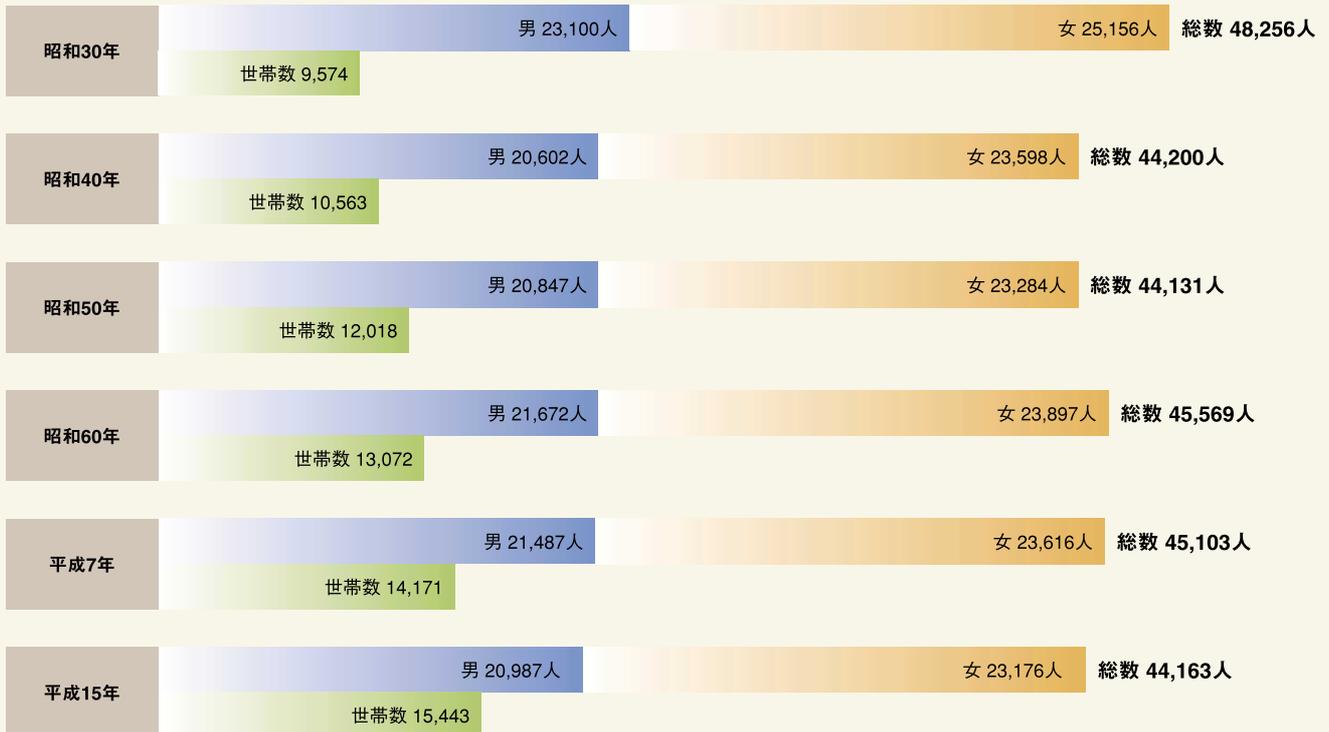
室本町の皇太子神社で行われる神事で、室本浜に麴の神が漂着したのを祀ったのが始まりとされます。天下泰平、国土安全、氏子繁昌、悪魔退散などを祈り、的にむかって矢が放たれます。平成15年に市の無形民俗文化財に指定されています。

今この時、輝いて。冬

1 人口

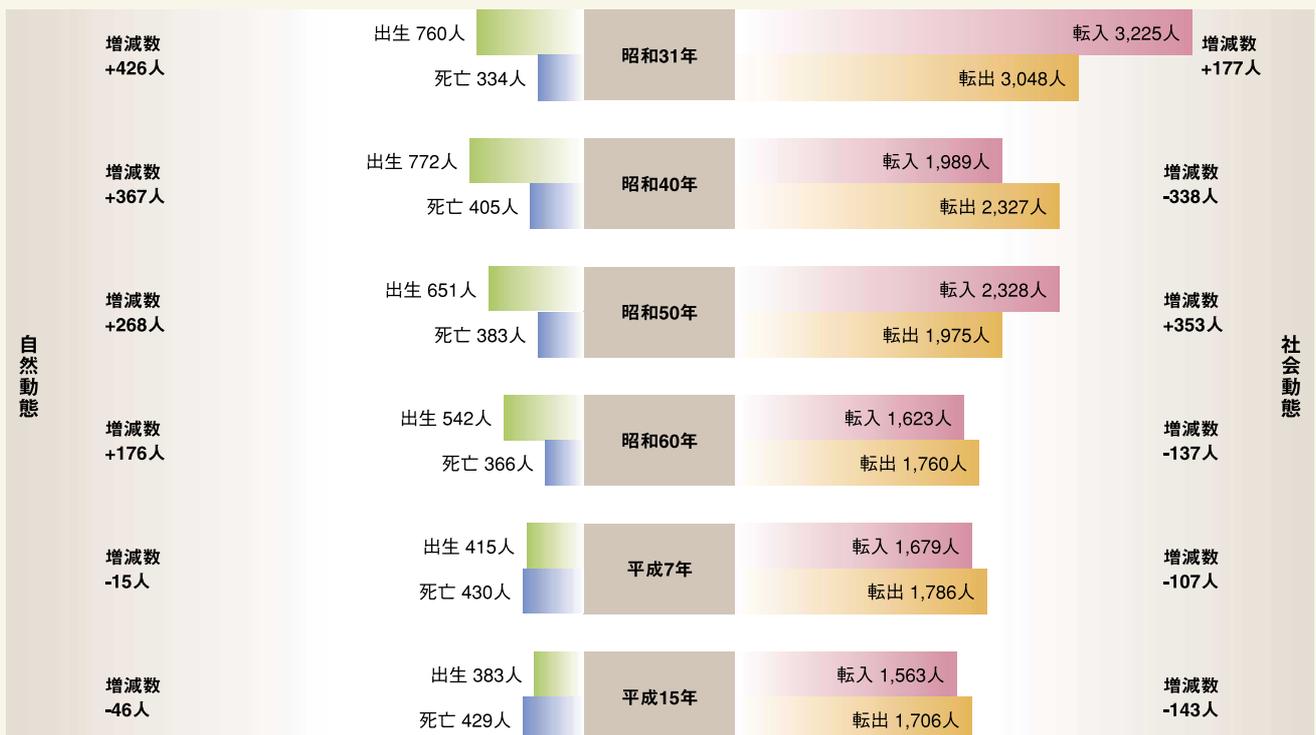
◆世帯数及び人口の推移

◆資料／昭和60年、平成7年は国勢調査、以外は人口移動調査



◆人口動態

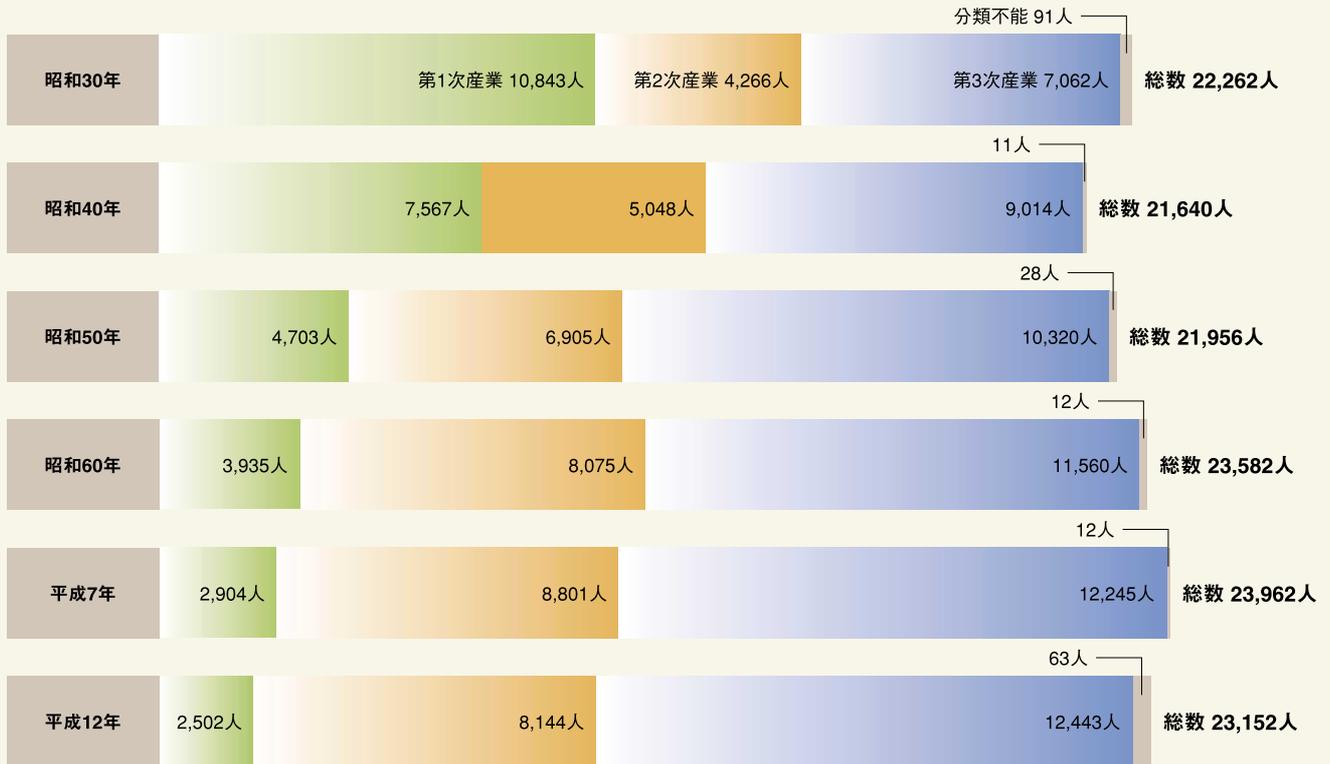
◆資料／香川県人口動態調査



2 産業

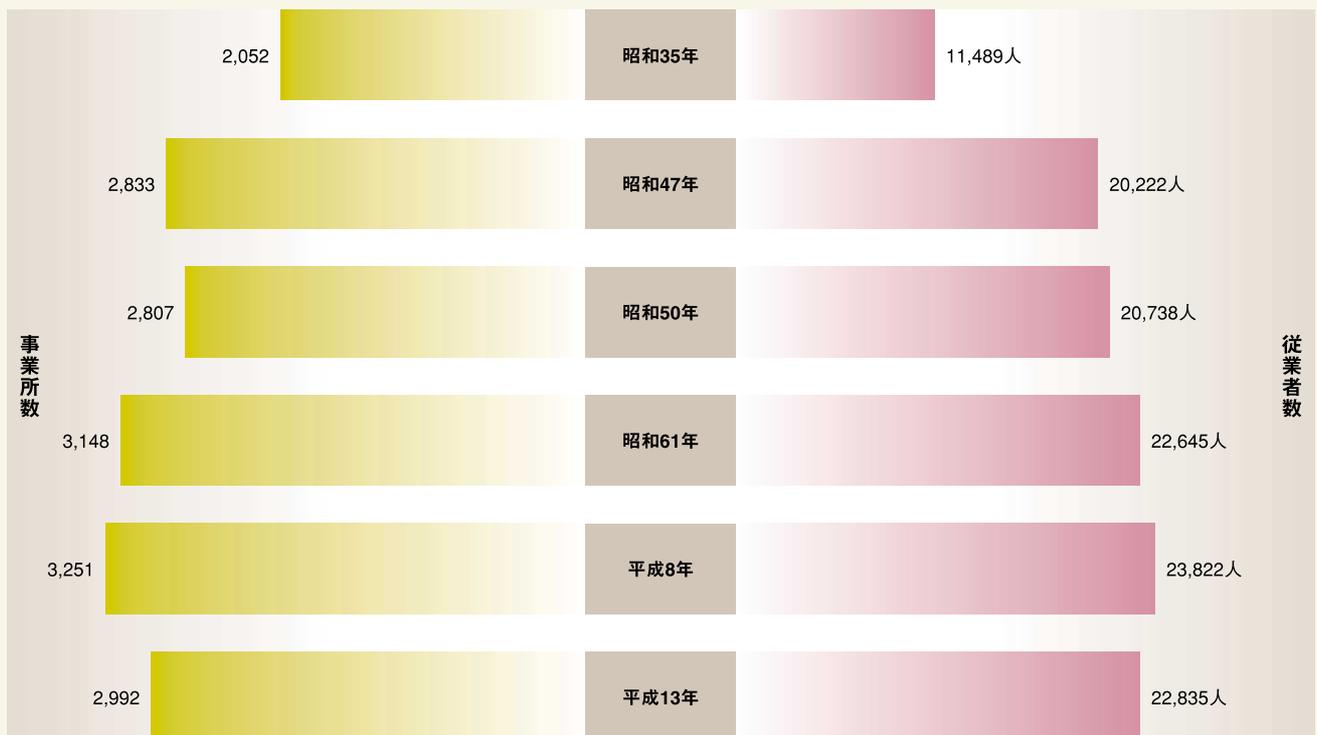
◆産業別就業者数の推移

◆資料/国勢調査



◆事業所数と従業者数の推移

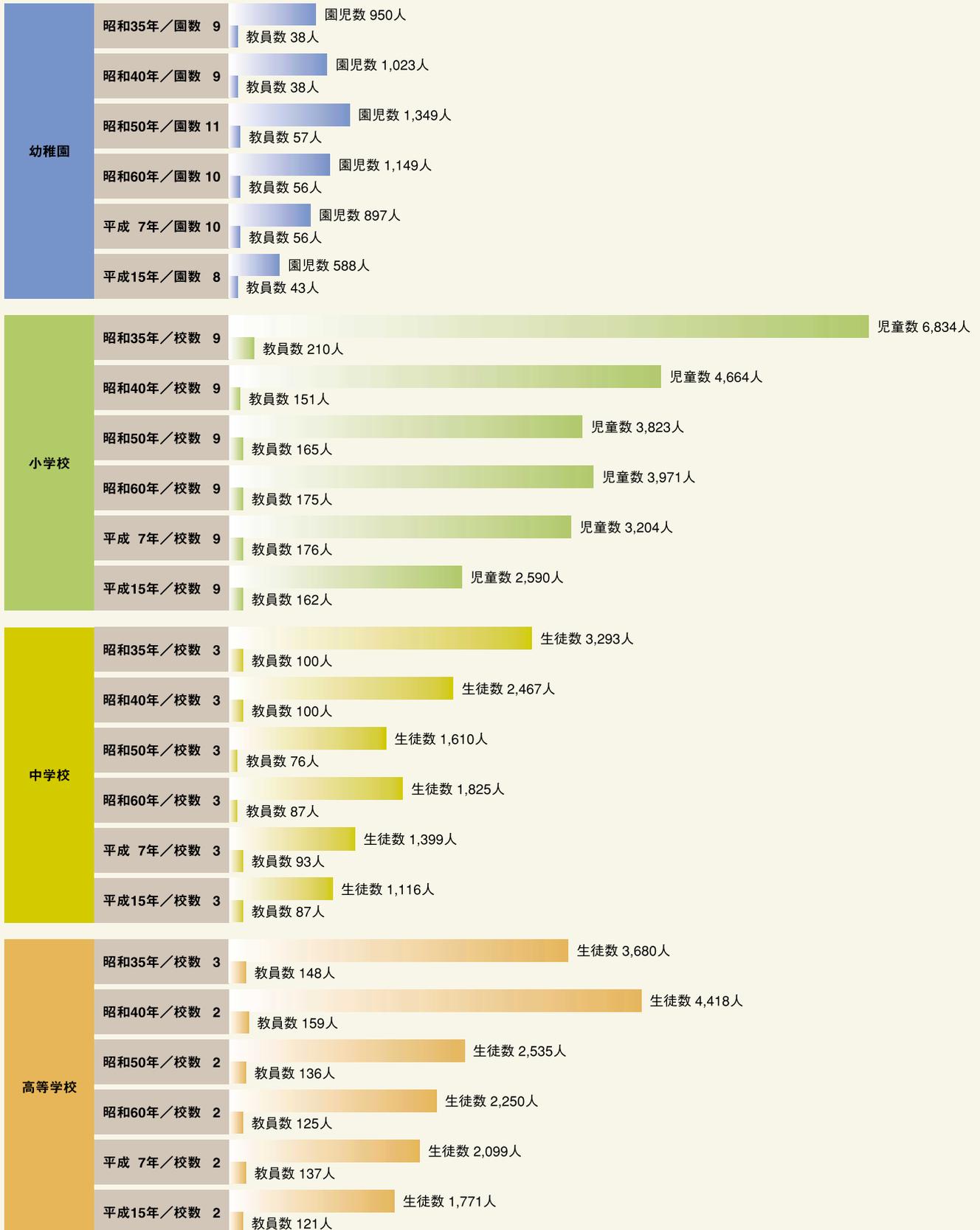
◆資料/事業所統計調査



3 教育

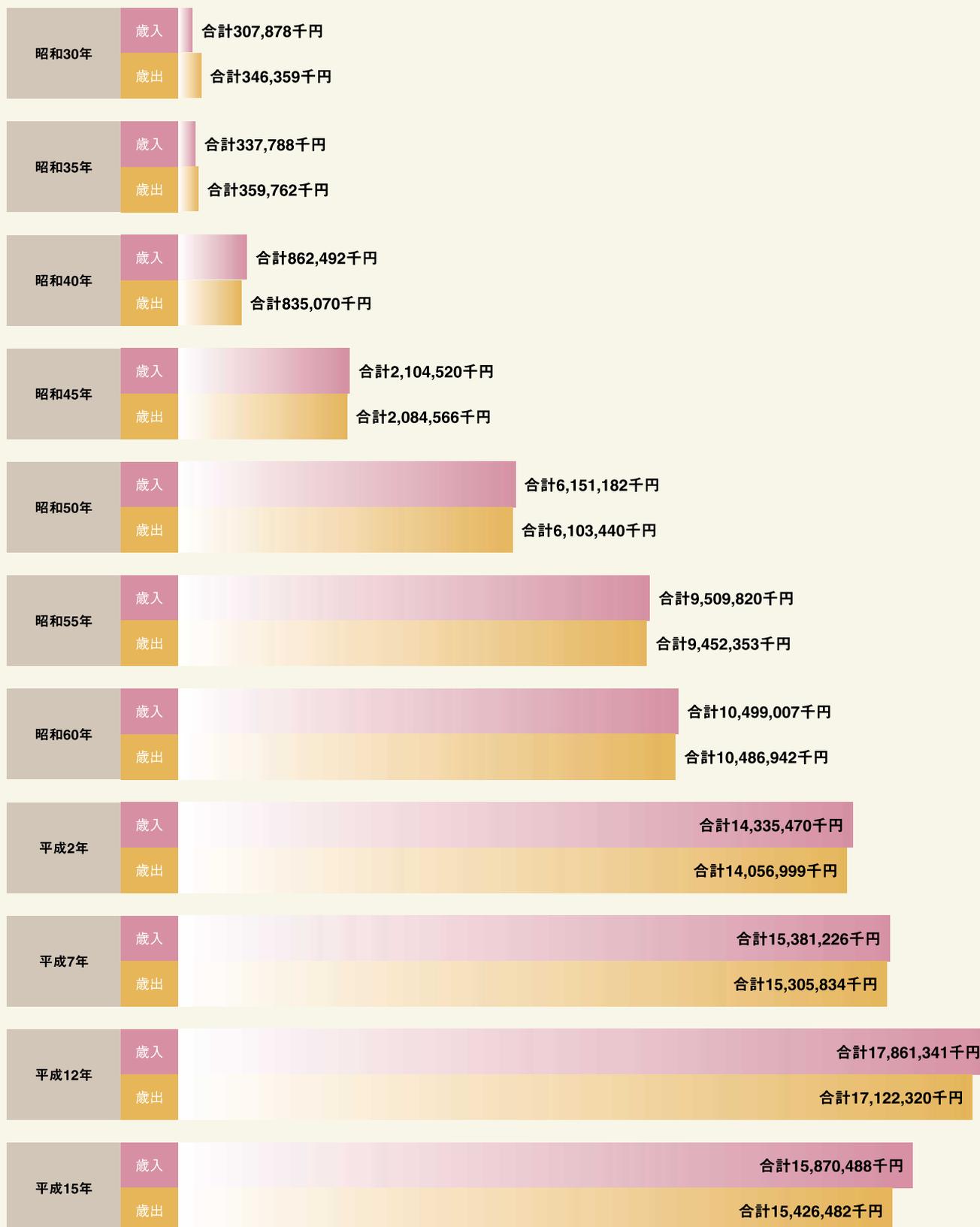
◆幼稚園児数、小学校児童数、中学校・高等学校生徒数の推移

◆資料/学校基本調査



4 財政

◆一般会計決算額の推移



歴代市長



初代～3代
西原理一
昭和30年2月14日～
昭和42年2月12日



4代
横山武平
昭和42年2月13日～
昭和46年2月12日



5代
西原理一
昭和46年2月13日～
昭和50年2月12日



6～10代
加藤義和
昭和50年2月13日～
平成 3年2月12日



11～12代
今津禮二郎
平成3年2月13日～
平成7年6月29日



13代～
白川晴司
平成7年6月30日～現在

歴代助役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初	片山 四郎	昭和30年 6月 3日	昭和37年 9月28日
2	近藤 静馬	昭和38年 5月11日	昭和42年 5月10日
3	近藤 静馬	昭和42年 6月16日	昭和46年 6月15日
4	吉田 清	昭和46年12月26日	昭和50年12月25日
5	吉田 清	昭和50年12月26日	昭和54年12月25日
6	村上 章	昭和54年12月26日	昭和58年12月25日
7	村上 章	昭和58年12月26日	昭和62年12月25日
8	織田 勉	昭和62年 6月13日	平成 3年 6月12日
9	井下 恒雄	平成62年12月26日	平成 3年 6月20日
10	合田 弘行	平成 4年 3月12日	平成 8年 1月11日
11	大倉 利夫	平成 8年 3月14日	平成12年 3月13日
12	大倉 利夫	平成12年 3月14日	平成16年 3月13日
13	大倉 利夫	平成16年 3月14日	現在

歴代収入役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初	安藤源四郎	昭和30年 1月 1日	昭和34年 6月 2日
2	西川忠四郎	昭和34年 6月 3日	昭和36年 2月 4日
3	安藤 幸重	昭和36年 3月 9日	昭和43年 9月30日
4	吉田 清	昭和43年12月18日	昭和46年12月25日
5	岡田 清一	昭和46年12月26日	昭和49年 8月25日
6	大西 森重	昭和50年 3月16日	昭和54年 3月15日
7	大西 森重	昭和54年 3月16日	昭和55年 9月30日
8	青木 茂	昭和55年10月 1日	昭和59年 9月30日
9	青木 茂	昭和59年10月 1日	昭和63年 9月30日
10	宇賀 清隆	昭和63年10月 1日	平成 4年 2月12日
11	久保 等	平成 4年 3月12日	平成 8年 3月11日
12	藤川 卓二	平成 8年 3月14日	平成12年 3月13日
13	藤川 卓二	平成12年 3月14日	平成16年 3月13日
14	藤川 卓二	平成16年 3月14日	現在



13代
大倉利夫



14代
藤川卓二

歴代議長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初	田岡 種茂	昭和30年 1月20日	昭和30年 4月30日
2	金子柳太郎	昭和30年 5月 7日	昭和32年 4月23日
3	片山 正茂	昭和32年 4月24日	昭和34年 4月30日
4	片山 正茂	昭和34年 5月12日	昭和36年10月 7日
5	松尾 正徳	昭和36年10月 7日	昭和38年 4月30日
6	松尾 正徳	昭和38年 5月11日	昭和40年 5月25日
7	松尾 正徳	昭和40年 5月25日	昭和42年 3月31日
8	宇賀敬二郎	昭和42年 5月 9日	昭和43年 7月24日
9	宇賀敬二郎	昭和43年 7月24日	昭和44年 8月27日
10	西山 芳一	昭和44年 9月30日	昭和45年 9月30日
11	大家 虎一	昭和45年10月 1日	昭和46年 4月30日
12	石川 義彰	昭和46年 5月12日	昭和47年 5月27日
13	川端喜久治	昭和47年 5月27日	昭和48年 5月26日
14	加藤 義和	昭和48年 5月26日	昭和49年12月21日
15	西山 芳一	昭和49年12月21日	昭和50年 4月30日
16	森川 繁之	昭和50年 5月14日	昭和51年 5月21日
17	岸上 修	昭和51年 5月21日	昭和52年12月17日
18	白川 精	昭和52年12月17日	昭和54年 4月30日
19	加島 民昌	昭和54年 5月 8日	昭和56年 6月15日
20	白川 精	昭和56年 6月15日	昭和58年 4月30日
21	藤原 栄	昭和58年 5月10日	昭和59年 5月11日
22	伊瀬 均	昭和59年 5月11日	昭和60年 5月14日
23	白川 精	昭和60年 5月14日	昭和62年 4月30日
24	岩本 邦夫	昭和62年 5月 6日	昭和63年 6月 4日
25	美藤 広	昭和63年 6月 4日	平成元年 6月 5日
26	三好健太郎	平成元年 6月 5日	平成 2年 6月 8日
27	伊瀬 均	平成 2年 6月 8日	平成 3年 4月 3日
28	片山 由隆	平成 3年 5月20日	平成 4年 5月20日
29	岩本 邦夫	平成 4年 5月20日	平成 5年 5月20日
30	美藤 広	平成 5年 5月20日	平成 6年 5月20日
31	三好健太郎	平成 6年 5月20日	平成 7年 4月20日
32	石田 益雄	平成 7年 5月 8日	平成 8年 5月10日
33	近藤 幸吉	平成 8年 5月10日	平成 9年 6月17日
34	大西 輝於	平成 9年 6月17日	平成10年 5月13日
35	森川 光典	平成10年 5月13日	平成11年 4月22日
36	白川 精	平成11年 6月15日	平成13年 6月15日
37	森川 光典	平成13年 6月15日	平成15年 5月29日
38	白川 精	平成15年 6月13日	平成16年 6月14日
39	藤田 芳種	平成16年 6月14日	現在

歴代副議長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初	小西憲一郎	昭和30年 1月20日	昭和30年 4月30日
2	片山 正茂	昭和30年 5月 7日	昭和32年 4月24日
3	大西 久吉	昭和32年 4月24日	昭和34年 4月30日
4	宇賀敬二郎	昭和34年 5月12日	昭和38年 4月30日
5	大西 規夫	昭和38年 5月11日	昭和40年 5月25日
6	宇賀勇治郎	昭和40年 5月25日	昭和42年 4月30日
7	大西 規夫	昭和42年 5月 9日	昭和43年 7月24日
8	宇賀勇治郎	昭和43年 7月24日	昭和46年 4月30日
9	高木寿恵喜	昭和46年 5月12日	昭和47年 5月27日
10	森川 繁之	昭和47年 5月27日	昭和48年 5月26日
11	岸上 修	昭和48年 5月26日	昭和49年12月21日
12	白川 精	昭和49年12月21日	昭和50年 4月30日
13	加島 民昌	昭和50年 5月14日	昭和51年 5月21日
14	山本 尊寿	昭和51年 5月21日	昭和52年12月17日
15	久保 寿夫	昭和52年12月17日	昭和54年 4月30日
16	藤原 栄	昭和54年 5月 8日	昭和55年 9月25日
17	表崎 又一	昭和55年 9月25日	昭和56年 6月15日
18	伊瀬 均	昭和56年 6月15日	昭和58年 4月30日
19	岩本 邦夫	昭和58年 5月10日	昭和59年 5月11日
20	美藤 広	昭和59年 5月11日	昭和60年 5月14日
21	石井 隆司	昭和60年 5月14日	昭和61年 6月16日
22	越智 利久	昭和61年 6月16日	昭和62年 4月30日
23	合田 義登	昭和62年 5月 6日	昭和63年 6月 4日
24	石川 義行	昭和63年 6月 4日	平成元年 6月 5日
25	片山 由隆	平成元年 6月 5日	平成 2年 6月 8日
26	石田 益雄	平成 2年 6月 8日	平成 3年 4月 3日
27	近藤 幸吉	平成 3年 5月20日	平成 4年 5月20日
28	合田 茂信	平成 4年 5月20日	平成 5年 5月20日
29	大西 輝於	平成 5年 5月20日	平成 6年 5月20日
30	森川 光典	平成 6年 5月20日	平成 7年 4月20日
31	近藤 幸吉	平成 7年 5月 8日	平成 8年 5月10日
32	大西 輝於	平成 8年 5月10日	平成 9年 6月17日
33	森川 光典	平成 9年 6月17日	平成10年 5月13日
34	藤田 芳種	平成10年 5月13日	平成11年 4月22日
35	井下 尊義	平成11年 6月15日	平成12年 6月14日
36	藤田 芳種	平成12年 6月14日	平成13年 6月15日
37	宮尾 正樹	平成13年 6月15日	平成15年 5月29日
38	藤田 芳種	平成15年 6月13日	平成16年 6月14日
39	宮尾 正樹	平成16年 6月14日	現在



39代
藤田 芳種



39代
宮尾 正樹



一ノ谷小学校6年
藤井耀大さん

50年後の観音寺市は、今以上に便利になって、伊吹島には港の辺りから橋がかけられ、空港もできます。どこに行くのも飛行機で短時間に移動でき、お店や観光施設も整います。仕事にはインターネットを使うことが多くなり、仕事のために会社に行く必要がなくなるので、交通の混雑もありません。自然も豊かで、生活にも心にもゆとりができ、争いもなくなります。近所の人と、まるで家族のように協力していく、そんな観音寺大家族が出来上がっているといいなあと思います。



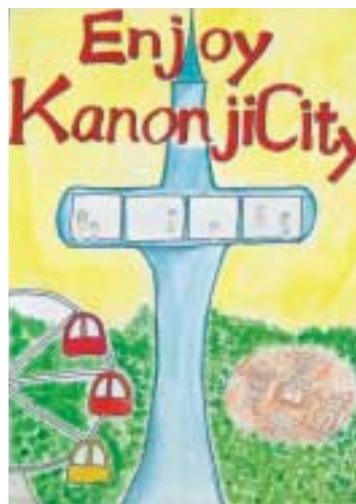
栗井小学校6年
高嶋将太さん

僕の住んでいる栗井町はすごく田舎で、山と田んぼばかりで不便です。50年後には、この町が田舎から都会に変身すればいいなあと思います。例えば、デパートとかレストランとか、観光名所とか色々できて、県外からもいっぱい人が来て、にぎやかな町になったらいいなあ…。



伊吹小学校6年
三好秀児さん

ぼくは、伊吹小学校に通っています。町に買い物などに行く場合、船に乗って港まで行かなければならないのですが、風がよく停船してしまいます。こんな大きな橋が架かったなら、さっといつでも好きなとき町に行くことができるだろうと思います。



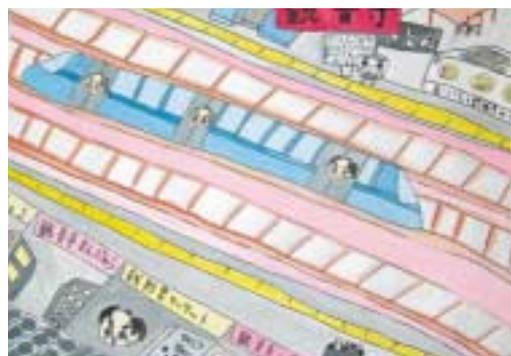
一ノ谷小学校6年
牧野 葵さん

50年後は、私もおばあちゃんになっています。でも、自分の子どもや孫と、笑顔いっぱいの生活をしています。今の観音寺市も大好きですが、今以上に街に笑顔があふれたらいいなあと思います。観光客が集まり、寛永通宝は50年たってもやはり観音寺市のシンボル。緑もいっぱい、観覧車や展望タワーからゆったりと市内が一望できる、落ち着いた街です。50年後の観音寺市は、お年寄りにも子どもにも、地球にも優しい都市であってほしいと思います。



観音寺東小学校6年
横山 翼さん

有明浜には、海浜植物が生い茂り、それらを守る人も増えています。そして、香川県の県魚、はまちの養殖もさかんに行われています。自然を守りながらも、人々の暮らしも便利にした観音寺市です。



観音寺東小学校6年
松尾美来さん

街には、うどんやおまんじゅうなどの名物を楽しめるお店が建ちならび、観音寺駅には、速い電車がたくさん通っています。みんなが楽しく過ごせる観音寺市になっていると思います。

子どもたちの描く未来は、
自分たちが「住みたい」と願う街の姿です。
この子どもたちのために、
私たちが残してあげられるものは何でしょう。



観音寺南小学校6年
古本実加さん

この絵は学校です。校舎のど真ん中にある魚の絵は水そうです。ちょっと楽しみたいので、エレベーターを付けました。服装も私服で、お花もきれいに咲いています。校舎も一つひとつちがう模様で、学年が上がるたびにワクワクします。こんな楽しい、おもしろい学校ができればいいと思います。



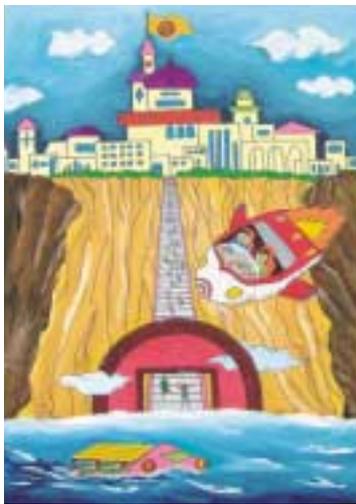
観音寺南小学校6年
梶山祐華さん

町には自然がいっぱいで、交通もきちんと整備されています。新しいものと自然がうまく調和して、人間も動物も明るく暮らしています。そんな観音寺にしたいな。



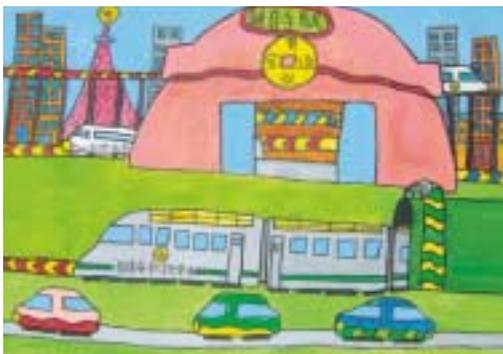
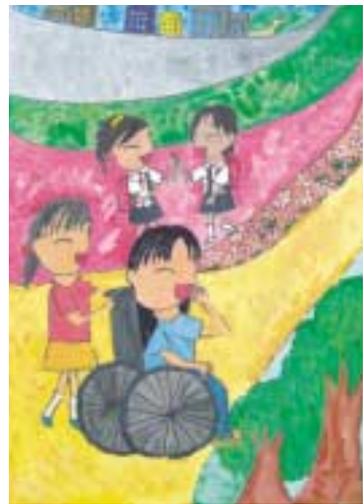
柞田小学校6年
前川紗希さん

銭形のマークをくぐりぬけて、長いエスカレーターを登った所にみんなが楽しく暮らしている様子を想像して描きました。自由に空を飛んだり、太陽の光で動く船で移動したりできたら楽しいだろうなと思いました。観音寺が一つの国になったらいいです。



観音寺南小学校6年
三好夏希さん

車いすの人、子どもや人、車が通る道がそれぞれ別々で、安全に生活できる町。そして、事故がなく、みんなが笑顔で暮らせる町。50年後の観音寺市は、きっとそんな町になっていると思います。



柞田小学校6年
十河 樹さん

駅はすべてコンピュータ化され、大きなドーム型になっていると思います。電車はリニアモーターカーになり、一日に何千本も通っています。車も磁石で動いています。町には活気があふれ、高層ビルがたちならび、市の中心には大きなシンボルタワーがあります。



柞田小学校6年
井之川達哉さん

最近、地震や台風などの災害が多く、地球温暖化も進んでいます。だから、将来は地下都市を作ってほしいと思います。地上は整備され、歩かなくても進む道があり、自然や緑が豊かで、明るく住みよい町です。50年たっても、観音寺市のシンボルである「寛永通宝」はあると思います。

子ども美術館

50年後の観音寺市・子どもたちの見つめる未来



高室小学校6年
萩田若菜さん

50年後、といっても想像もつかなかったのですが、寛永通宝は永遠に残ってほしいと願って描きました。花が咲き、緑豊かで明るい観音寺市上空には、スペースシャトルが飛んでいるかもしれません。将来の明るい観音寺市を見たいと願っています。



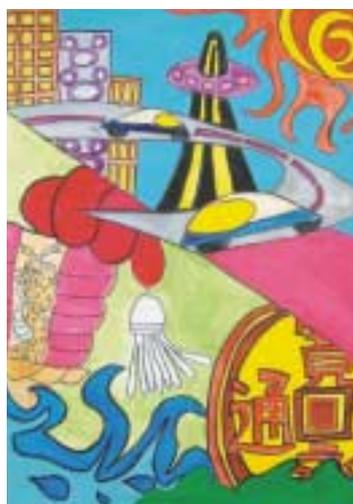
高室小学校6年
浅野仁美さん

将来は、観音寺市に新幹線が通ればいいと思います。そうすれば、県外から有名な寛永通宝や美しい有明浜などを見に来る人が増えて、にぎやかになります。また、観音寺市から県外に行く時も便利です。こんな観音寺市になってほしいという願いを込めて描きました。



常磐小学校6年
佐川愛美さん

有明浜には海滨植物がさきみだれ、その横にはきれいな花と海のテーマパーク、海上遊園地ができています。散歩コースもつくりました。町では小学生が空を飛べる自転車で登校しています。花の形をしたステキな乗り物です。広い道の上には大きな歩道橋が通っています。全部バリアフリーで、車椅子の人でも通れる植物いっぱいの道です。未来の観音寺市はだれでも住みやすい楽しい町です。



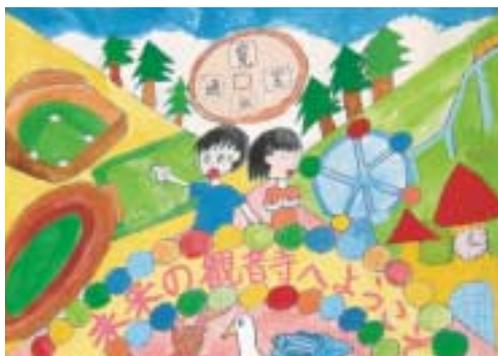
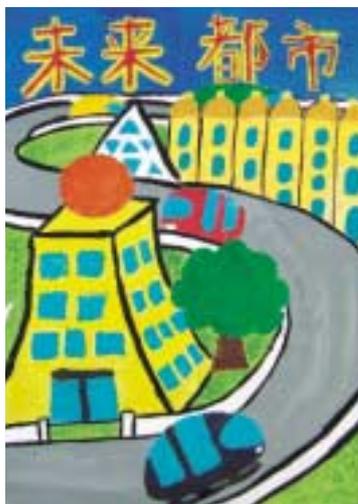
常磐小学校6年
岡田紗季さん

街の中心には、高さ150mのシンボルタワーがそびえ、ハイウェイを高速ソーラーカーがたくさん走っています。お祭りはいつもにぎやかで、おおぜいの人が観音寺をおとずれ、自慢の寛永通宝も全国的に有名になっています。そして、美しい街で子どもからお年寄りまでだれでも仲良く暮らしています。



伊吹中学校1年
真鍋克麻さん

「50年の間で観音寺がこんな風になってほしい」という思いをこめて描きました。



豊田小学校6年
近藤優香さん

50年後の観音寺市は、自分も含め、みんなが遊べるようなスポーツ施設があって、その周りには生き物がいて、豊かな自然の中で、人間も生き物たちも憩えるような街にしたいです。

かつて「未来」という言葉から連想されたロケットや無機質な街の姿は今はなく、以外にも、子どもたちが豊かな自然のある暮らしを望んでいることがわかります。



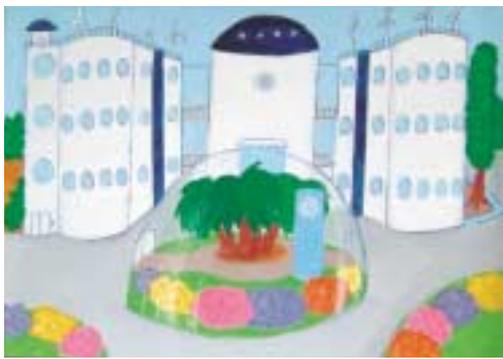
観音寺中学校1年
近藤美輝さん

たぶん寛永通宝にドームができているのではないかと思います。雨が降ったときにはドームをしめませんが、ガラスだから中がはっきり見えます。晴れた日にはドームが開けられ、今まで通りの銭形が見えるのです。



観音寺中学校2年
石井志奈さん

この絵は、自然を尊重する心の大切さを表しています。中心に置いた蓮の上の球の中には、今と変わらず美しい寛永通宝と、まわりの松が枯れてくずれつつある寛永通宝を描いてみました。50年後どちらになるかは、わたしたちの心しだいだと思います。



中部中学校1年
請川紋香さん

私は、50年後の中部中学校を描きました。校門を入ると、芝生と花とフェニックスが、ガラスの温室に囲まれて1年中美しい緑をみせています。新校舎は曲線を生かしたデザインで、白く清潔感があり、校舎内は、風力や太陽熱を生かした空調や電化設備がそろっていて、環境にやさしい工夫もされています。



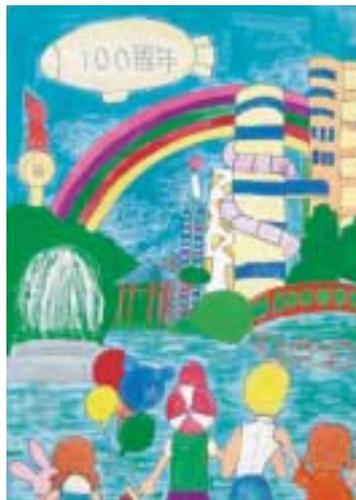
観音寺中学校2年
阪本真世さん

琴弾公園の周辺には飛行船が飛び、観光客を迎えています。三架橋には風車がついて、川から汲み上げられた水が橋の表面を流れています。



中部中学校1年
平口奈緒子さん
高崎実和子さん

琴弾公園には、大好きな噴水や美しい庭がそのまま残っていて、みんなの憩いの場になっています。海の向こうには新しく埋め立ててできたビル街があり、観音寺市のシンボルタワーも建っています。100周年の記念イベントにたくさんの方が参加してにぎわっています。



中部中学校1年
小出沙弥果さん

美しい有明浜や、歴史のある銭形、豊かな緑を守りながら、観音寺市の市街も発展して、新しいビルがどんどん建っています。市民が楽しめる公園や海底水族館もできています。島の人たちとも橋や海底トンネルでつながり、生活はたいへん便利になっています。

子ども美術館

50年後の観音寺市・子どもたちの見つめる未来

琴弾の風、時の調べ

50th Anniversary of Kan-onji city

1955-2004

観音寺市市制施行50周年記念誌

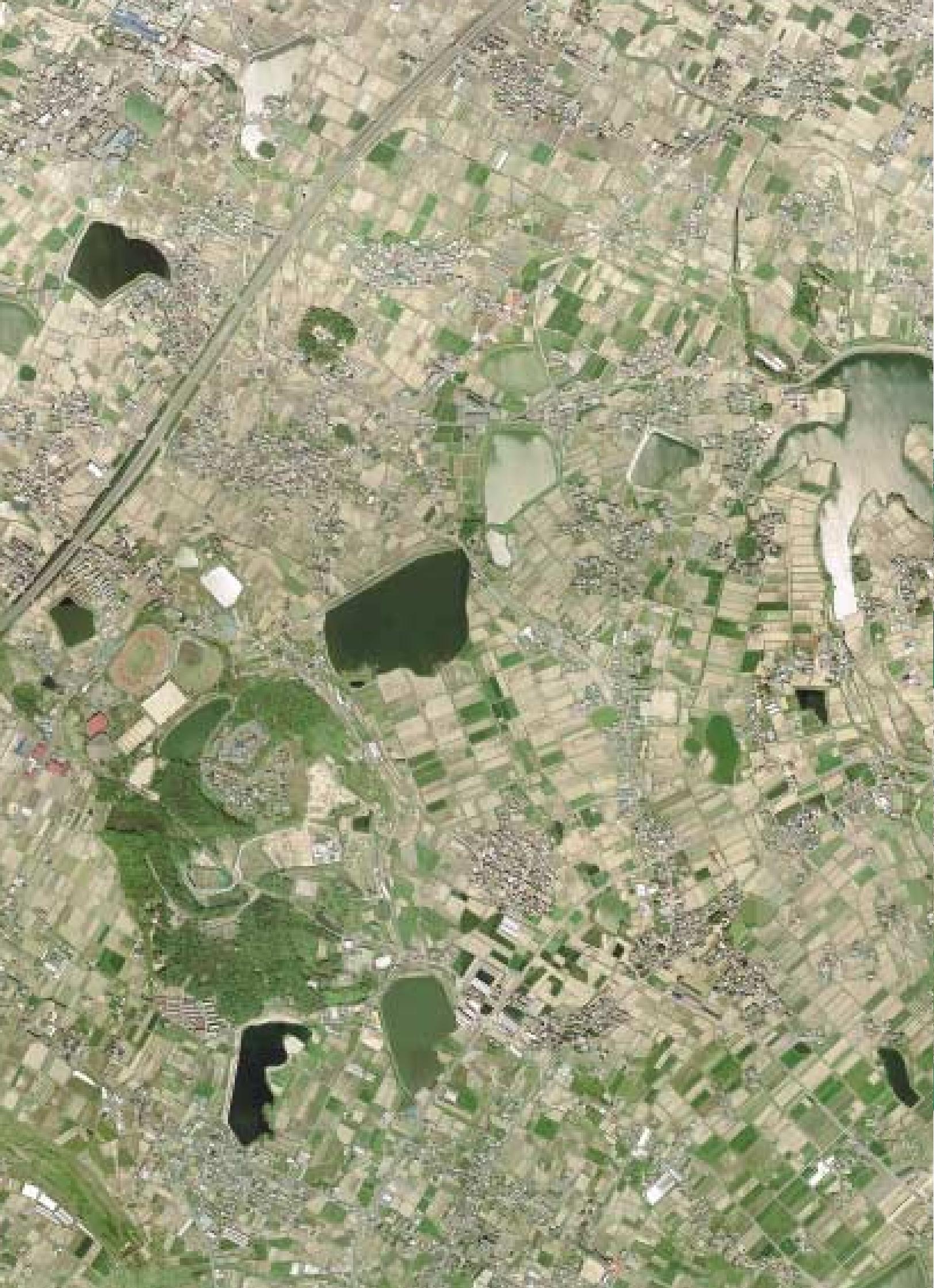
- 写真提供者 阿野 勲 市内各公民館
協力者 安藤 富太 観音寺漁業協同組合
石川 芳洋 市内各小・中学校
磯野 福晴 観音寺郵便局
猪熊 重紀 倉敷紡績株式会社観音寺工場
井下 京子 観音寺商工会議所
岩倉 道夫 (株)百十四銀行
請川 高善
大西 秀昭
長船 洋子
勝田 且美
行天 宏
佐川 信秋
清水 正子
岡子 英典
田岡 和久
谷川 泰三
細川 正雄
松浦 攻
松浦 實効
湊 仁美
美藤 広
三好 博
森 豊子
横山 照美
脇 剛司 (50音順、敬称略)

[表紙写真]

けんぼんしやくごとうきやうえんぎ
絹本著色琴弾宮給縁起

(宗) 観音寺所蔵、香川県歴史博物館提供

- 発行日 平成17年1月
●発行 香川県観音寺市
〒768-8601 香川県観音寺市坂本町一丁目1番1号
TEL(0875)23-3917 FAX(0875)23-3920
ホームページ <http://www.city.kanonji.kagawa.jp/>
e-mail info@city.kanonji.kagawa.jp
●企画編集 観音寺市教育委員会
●制作 株式会社 きょうせい





50th Anniversary of Kan-onji city
1955-2004